

第2期

豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

取組状況報告書(令和4年度分)

令和5年9月

基本目標① しごとづくり

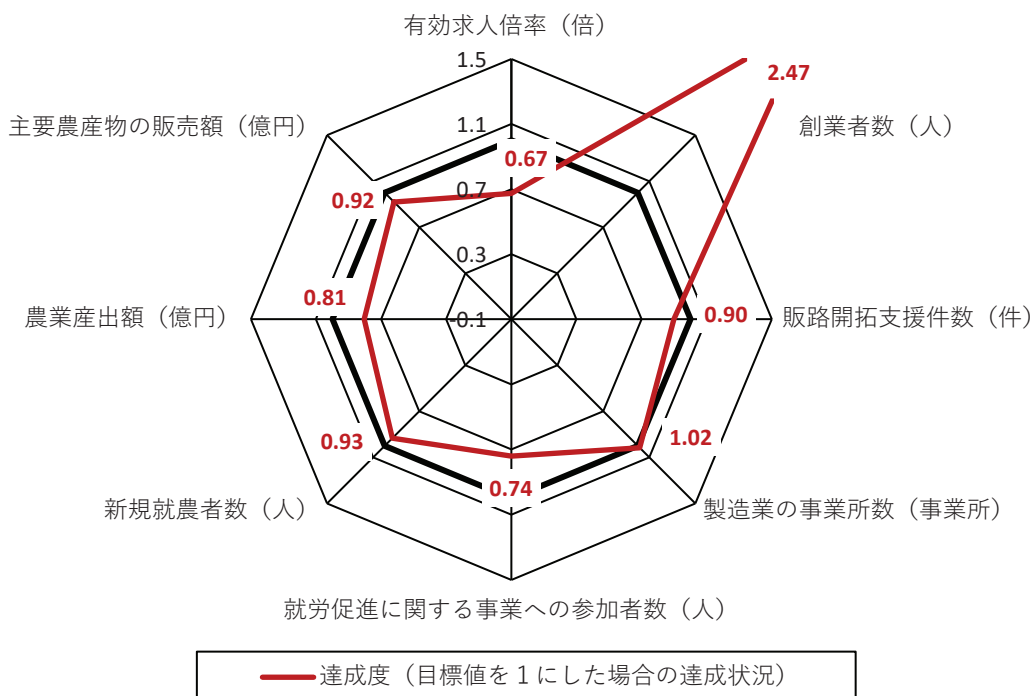
【基本的方向】

中小企業などの経営基盤強化・経営革新や創業・起業、未来技術の実装への支援、若者層の就業支援、人材育成支援、農業・商業の経営・生産性の向上など、質の高い「しごとづくり」に取り組みます。

基本目標① 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
有効求人倍率(倍)	(上段:数値)	1.33	1.08	0.69	0.79	0.91		1.35以上
	(下段:達成度)	—	B	C	C	C		

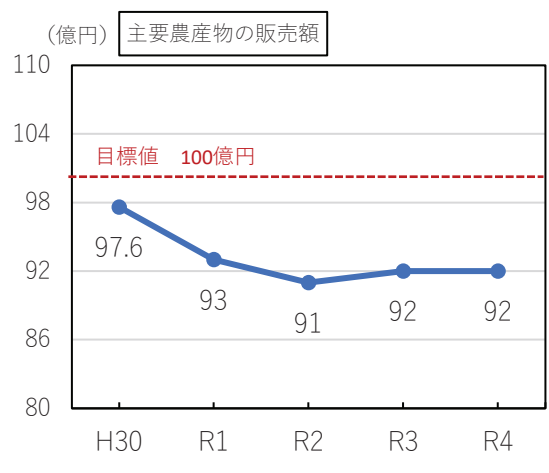
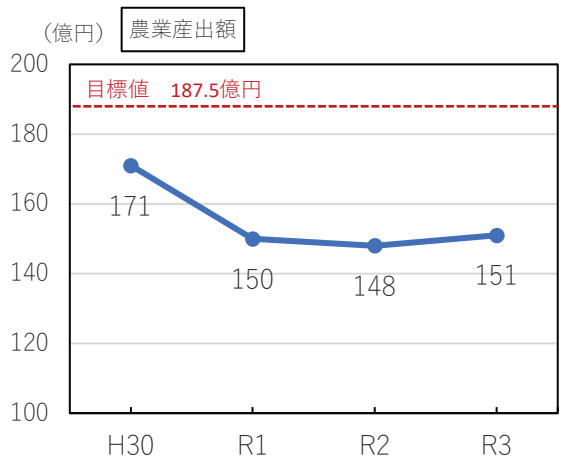
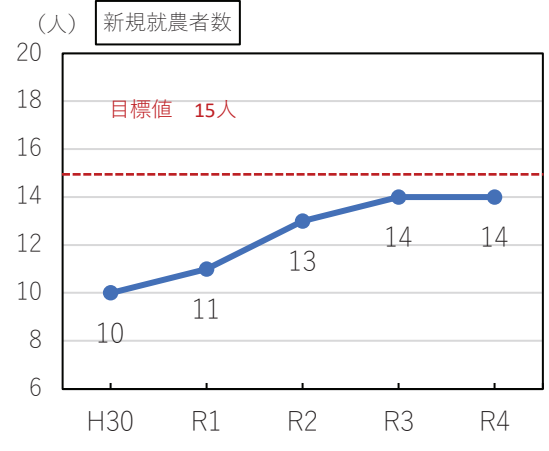
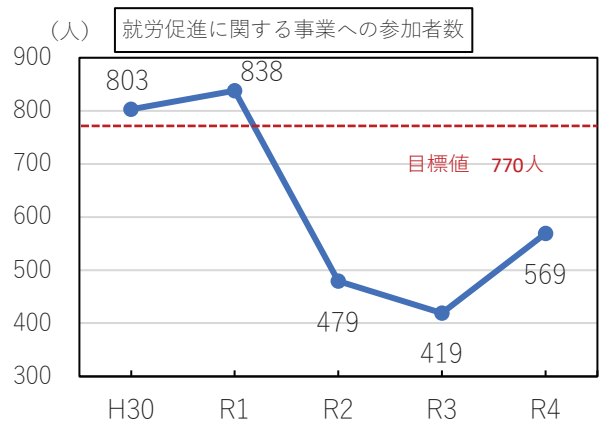
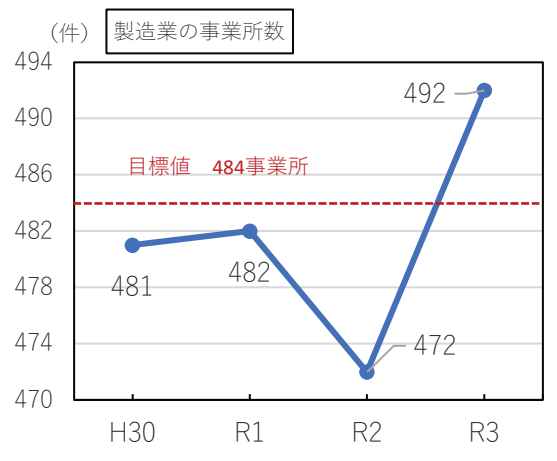
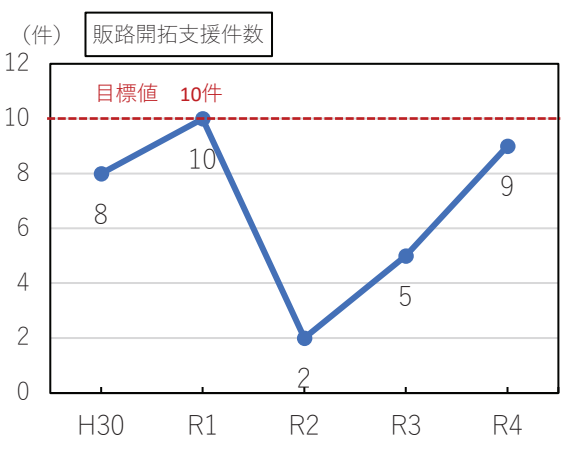
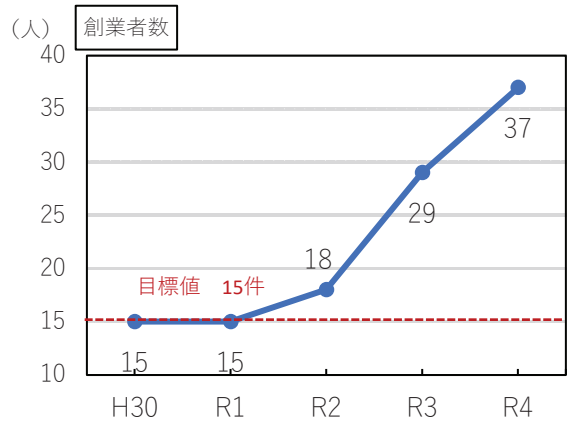
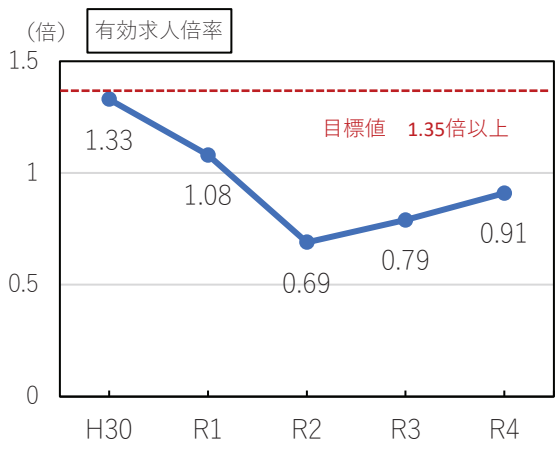
1. 達成状況レーダーチャート



2. 評価

内部評価分析 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・最新値が公表されていない項目を除く8つのKPIのうち、「創業者数」と「製造業の事業所数」が目標値を超え、目標値達成率は、25%(8項目中2項目)となった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられるKPIのうち、前年度に実績値が持ち直した「有効求人倍率」や「販路開拓支援件数」はさらに目標に近づき、「就労促進に関する事業への参加者数」や「農業算出額」は今年度の実績値が改善していることから、しごとづくりの各種施策が効果を発揮していると評価する。
外部評価検証 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により低迷していた指標が回復・改善傾向にあり、特に豊川市が直接関与しうる「創業者数」「販路開拓支援件数」「就労促進事業の参加者数」が前年度比で増加している点で各施策の効果が発揮できていると考える。 ・創業者が増えていることは、創業・起業支援の成果が表れていると考えるが、創業後に事業を維持し、さらに拡大していくことは難しいため、創業後の支援にも力を入れていくことが重要である。

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



基本目標① しごとづくり

施策(1) 創業・起業・販路開拓支援、新たなビジネスモデル構築などへの支援

- 中小企業などに対して専門家を派遣した創業、起業、経営支援相談事業などを実施し、中小企業の経営支援・経営革新、遊休不動産の活用による新たなビジネスモデルの構築支援を行います。
- 国内外における展示会やイベントへの出展にかかる費用の一部助成、各種研修や情報収集にかかる経費の補助など、販路開拓を支援します。
- Society5.0の実現に向けた技術(未来技術)を活用した中小企業の産業強化、第2創業の支援を行います。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
創業者数(人/年度)	実績値	15	15	18	29	37		15
	達成度	—	A	A	A	A		
販路開拓支援件数(件/年度)	実績値	8	10	2	5	9		10
	達成度	—	A	D	C	B		
製造業の事業所数(事業所)	実績値	481	482	472	492	—		484
	達成度	—	B	B	A	—		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・「とよかわ創業・起業支援ネットワークを活用した創業・起業の支援」を始めとする大部分の事業で、成果指標または活動指標の実績値が目標を達成している。</p> <p>・KPIについて、「創業者数」は目標を大きく超過し、「販路開拓支援件数」は目標には至らないものの前年度から増加した。また、「製造業の事業所数」は前年度から20事業所増となっていることから、創業・起業・販路開拓や新たなビジネスモデル構築などを支える施策の効果を発揮できていると評価する。</p>
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・KPIの実績値が前年度から増加していることは評価できるが、一過性で終わらないよう、より具体的に案件ごとに寄り添った支援の継続が望まれる。</p> <p>・資本が小さい小売業は事業を継続することが難しい時代になった。小規模店舗は大規模店舗にはない個性があり、そこを生かすまちづくりができれば個性ある豊川市になるのではないかと。</p>

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 創業・起業・販路開拓などの支援にあたっては、各事業者のニーズや継続性に配慮しながら、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	1	事業名	チャレンジとよかわ活性化事業				担当課	商工観光課	
事業内容	①市内において店舗や事務所を設置する「創業」、②市内の中小企業が実施する「経営革新事業」、③展示会に出展し、販路拡張や市場開拓のための経費を補助金制度で支援を実施する。								R4 事業費 14,880千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
補助金交付件数(件/年度)		目標値	35	31	46	45	45	47	○
		実績値	30	27	45	36			
自己評価の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業全体の補助金交付件数は減少したが、創業に対する補助金交付件数は概ね目標を達成しており、事業者の積極的な活動を支えることができた。									

連番	2	事業名	とよかわ創業・起業支援ネットワークを活用した創業・起業の支援				担当課	商工観光課	
事業内容	連携機関における創業および中小企業支援に関する事業の情報の共有を行い、支援を必要とする創業者に対し、情報提供および経営に関するアドバイスなど適切な支援を実施する。								R4 事業費 2,813千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
創業支援相談件数(件/年度)		目標値	226	262	262	364	364	364	◎
		実績値	305	371	465	625			
自己評価の理由 創業支援相談件数は目標値を大きく上回る実績値となり、アフターコロナに向けた創業・起業・販路拡大の支援を必要とする事業者のニーズに対応することができた。									

連番	3	事業名	遊休不動産などの活用による創業支援				担当課	都市計画課	
事業内容	中心市街地の空き店舗などの紹介や、リノベーションに関する情報提供などを実施し、中心市街地の活性化の機運を高めるとともに、空き店舗の減少を図る。								R4 事業費 300千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
空き家見学まちあるき参加者数(人/年度)		目標値	0	10	310	310	310	—	○
		実績値	0	9	343	310			
自己評価の理由 空き家見学ツアーで目指す成果として空き店舗の減少につなげることはできなかったが、空き家見学まちあるき参加者数は目標値に達し、参加者に対して空き店舗やリノベーションに関する情報提供などを実施することができた。									

連番	4	事業名	未来技術の社会実装を通じた地域産業の強化				担当課	商工観光課	
事業内容	令和2年8月、官民連携により設立した東三河ドローン・リバー構想推進協議会において、ドローンやエアモビリティなどの未来技術の社会実装を通じ、先進企業と地元企業との協働により、実証実験や製品開発、啓発・販路拡大などを実施し、新産業の集積や地域産業の強化を図る。								R4 事業費 9,893千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
中小企業との開発・技術連携を伴う実証実験(回/年度)		目標値	—	2	5	5	7	7	◎
		実績値	—	6	8	7			
自己評価の理由 中小企業との開発・技術連携を伴う実証実験の回数は、デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)実施計画の目標値を上回り、ドローン関連の新たな法整備に対応するため、国や県のプロジェクトと連携しながら取り組む中小企業の積極的な活動を支援することができた。									

基本目標① しごとづくり

施策(2) 就労促進、人材育成支援

- 市内の製造業を支えるものづくり人材やグローバルに活躍できる人材を確保・育成するため、中小企業向けの講座を開催する職業能力開発専門学院への助成や、市内企業の熟練技能者による市内高等学校における実技指導を行うなど、人材育成への支援を行います。
- 市内での就業促進に向け、若年層および首都圏からの転入者などへの就労支援を行います。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
製造業の事業所数(事業所)	実績値	481	482	472	492	—		484
	達成度	—	B	B	A	—		
就労促進に関する事業への参加者数(人)	実績値	803	838	479	419	569		770
	達成度	—	A	C	C	C		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・各事業の成果指標または活動指標について、多くの事業で実績値が目標値を上回っている。</p> <p>・首都圏人材確保支援事業は、県下市町で足並みを揃えた県共同事業であり、実績につながっていないが、今年度より市独自の奨学金返還支援事業を開始し市内での就労促進を支援する体制を整えることができた。</p> <p>・KPIについて、「製造業の事業所数」は前年度から20事業所増加しており、「就労促進に関する事業への参加者数」は、目標値には達していないものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年度より回復したことから、就労促進、人材育成に向けた施策を支えることができていると評価する。</p>
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・成果指標または活動指標が目標値に満たない事業はあるが、KPIの実績値は新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻りつつある。製造業の事業所数が伸びている中で、将来にわたる就業先確保、人材確保のためにも施策の継続が求められる。</p> <p>・製造業の事業数は増加に転じたものの、後継者問題への何らかの対策を期待する。</p> <p>・首都圏人材確保支援事業については、首都圏に出向き、豊川市に移住する意義を伝える取組があつて初めて制度活用を促せる。能動的な活動を期待する。</p>

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 実績が出ていない事業については、効果を発揮できるよう検証を行いながら、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、―:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	5	事業名	職業能力開発専門学院支援事業				担当課	商工観光課	
事業内容		豊川職業能力開発専門学院が、中小企業の従業員等に専門的知識、技能を習得させ、その質的、社会的地位の向上を図り、産業の振興発展に寄与するために行う事業に要する経費に対し補助金制度で支援を実施する。							R4 事業費 840千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
専門学院の受講者数(人/年度)		目標値	450	450	450	450	450	450	◎
		実績値	737	416	363	475			
自己評価の理由 新型コロナウイルス感染症の影響で開講できない講座があったものの、専門学院の受講者数は目標値を上回り、中小企業の従業員などの専門的知識や技術の向上を支援することができた。									

連番	6	事業名	地域技能者活用事業				担当課	商工観光課	
事業内容		高校生に実践的な技術・知識を伝え、ものづくり産業を担う人材を育成するため、地域の優れた熟練技能者を豊川工科高等学校へ派遣し、技能検定3級(普通旋盤作業、電子機器組立、手溶接)の資格取得を支援するとともに、就職に対する心構えや、仕事に取り組み姿勢などについて指導を行う。							R4 事業費 839千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
資格取得者数(件/年度)		目標値	10	10	10	10	10	10	◎
		実績値	10	2	4	21			
自己評価の理由 令和4年度は、高校生の地域技能者活用事業へグループ単位での受講により参加者数が増加する中、熟練技能者による効果的な実技指導などにより、最終的な資格取得者は目標値を大きく上回り、地域における技術の伝承と将来のものづくり産業を担う人材を育成することができた。									

連番	7	事業名	若年者の就労支援				担当課	商工観光課	
事業内容		就職に悩みを持つ15歳から49歳未満の若年者本人および家族に対して、自己の適性や就業経験などに応じた職業選択、就職に関する知識や能力の向上並びにアドバイスを実施する。							R4 事業費 509千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
セミナーなどへの参加者数(人/年度)		目標値	30	40	30	30	30	30	◎
		実績値	72	59	43	51			
自己評価の理由 セミナーなどへの参加者数は、参加者へのアンケート調査や国・県などの動向等を踏まえ、セミナーなどの内容を見直すとともに、保護者向けの事業も実施するなどの工夫により目標値を上回り、若年者に対し就職や就労について支援することができた。									

連番	8	事業名	首都圏人材確保支援事業				担当課	商工観光課	
事業内容		東京圏から豊川市に移住し、愛知県マッチングサイトに掲載する移住支援金の対象法人に就業した方や起業した方等に、移住支援金を支給する制度を実施する。							R4 事業費 0千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
首都圏人材確保支援事業費補助件数(件/年度)		目標値	3	3	3	3	3	3	×
		実績値	0	0	0	0			
自己評価の理由 プロフェッショナル人材の要件追加や子育て世帯の補助金加算など、制度内容の拡充をしているものの補助金の交付には至らず、本事業の活用による首都圏人材の確保支援はできなかった。									

連番	9	事業名	奨学金返還支援事業				担当課	商工観光課	
事業内容		本市の将来を担う産業人材の確保を促進するため、市内登録事業者へ就職した者に対して、大学などの在学時に借りた奨学金の返還について補助を行う。							R4 事業費 86千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
奨学金返還支援事業費補助件数(件/年度)		目標値	—	—	—	—	10	20	—
		実績値	—	—	—	—			
自己評価の理由 令和4年度は学生向けに事業の周知を行うとともに、事業者向けには豊川商工会議所や各商工会と連携し周知を図ることで市内24事業者が登録事業者となり、令和5年度から始まる奨学金返還支援の実施体制を整えることができた。									

基本目標① しごとづくり

施策(3) 農業・商業の活性化と経営・生産性向上の支援

- 農業の担い手を確保するため、就農塾の開講、農業機械のリースや導入補助などにより、新規就農者の発掘や農業経営者の育成を支援します。
- 豊川産農産物のブランド化や販路開拓、地産地消、食育およびスマート農業の推進、農業経営収入保険加入を支援するなど、農業経営を支援します。
- 農地の利用集積や耕作放棄地の解消、有害鳥獣による農産物への被害低減のための対策事業など、農業の生産性向上に向けた支援を行います。
- 経済団体と連携し、既存事業者への経営支援や事業活動などへの支援を行います。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
新規就農者数(人/年度)	実績値	10	11	13	14	14		15
	達成度	—	C	B	B	B		
農業産出額(億円)	実績値	171	150	148	151	—		187.5
	達成度	—	B	C	B	—		
主要農産物の販売額(億円)	実績値	97.6	93	91	92	92		100
	達成度	—	B	B	B	B		

※ 主要農産物とは、大葉、トマト、菊、バラ、イチゴの5品目です。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・「既存事業者への多様な産業活性化に向けた支援」として新たに地域商業強化事業を開始し、補助制度やセミナーの開催により既存事業者への支援を実施することができた。</p> <p>・KPIについて、「新規就農者」と「主要農産物の販売額」は前年度と同じ実績値であったが、「農業産出額」は目標とは開きがあるものの前年度より増加したことから、農業の活性化と経営・生産性向上を支援する施策の効果を発揮できていると評価する。</p>
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・コスト高を販売価格に反映しづらい仕組みの農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっているが、KPIについて目標に達していないもののいずれもB評価となっており、各施策の効果は発揮されている。</p> <p>・農業の生産性向上、所得の拡大については、一定の資金が必要となるが、高齢の就農者には難しいため、いかに若い就農者を増やしていくかが課題である。自然に左右されることの多い農業は所得も不安定であるが、自然を相手にする仕事に魅力を感じる若い人は多いため、収入を安定させる取組と、就農者や農業団体、行政のネットワークの構築が必要である。</p> <p>・新規就農を増やすことは重要だが、令和5年6月の記録的豪雨のような災害に強いまちづくりを進め、就農者を守る取組にも力を入れることを期待する。</p>

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 農業の活性化については、自立経営者の育成を意識した取組を継続するとともに、若年者が就農できるよう各関係機関とのネットワークを充実させながら、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	10	事業名	ひまわり農業協同組合との連携による就農者および生産性向上への支援					担当課	農務課
事業内容	ひまわり農協と豊川市が協働して運営する豊川市農業担い手総合支援協議会が中心となり後継者支援を図る。今後の農業を担う人材の育成を目的とした「就農塾」では、実践的なプログラムを用意することで修了者が販売農家として自立できるよう実施する。また、就農塾受講者を対象とした支援(農業機械リース事業費補助、農業機械導入事業費補助、農業次世代人材投資資金等)を行う。							R4 事業費	1,424千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就農塾受講者数(人/年度)	目標値	10	10	10	10	10	10	10	△
	実績値	4	2	4	3				
自己評価の理由									
就農塾受講者数について、受講希望者は多かったが、要件に該当する本格的な農業経営をしたい希望者が少なかったため目標値を達成できなかったものの、自立経営を目指す専業農家の育成を図ることができた。									

連番	11	事業名	有害鳥獣の捕獲と防除体制への支援					担当課	農務課
事業内容	狩猟連合豊川、豊川市鳥獣被害防止対策協議会および地元駆除組織と連携して捕獲強化に努める。事業内容としては、捕獲檻、大型捕獲檻の移設、地元住民との連携による侵入防止柵の設置、修繕および地元駆除組織への捕獲実績に応じた報償金の交付など捕獲と防除体制の支援を図る。							R4 事業費	18,681千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
農作物被害額(千円/年)	目標値	9,226	9,226	14,581	14,581	14,581	14,581	14,581	◎
	実績値	21,547	12,930	15,429	13,427				
自己評価の理由									
ワイヤーメッシュ柵の設置による防除事業や捕獲檻の設置などによる駆除事業について、地元駆除組織などと連携・協力して農作物被害の防除を行ったことで、農作物被害額を前年度より減少させることができた。									

連番	12	事業名	耕作放棄地解消への支援					担当課	農務課
事業内容	耕作放棄地の借り入れを希望する耕作者に対して、その復旧にかかる経費の一部を助成し、営農開始に向けた初期投資の軽減および耕作放棄地の解消を図る。							R4 事業費	418千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
解消面積(m ² /年度)	目標値	12,000	14,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	△
	実績値	13,430	17,327	10,550	11,659				
自己評価の理由									
耕作放棄地の解消面積は、過去にこの制度を利用していた大規模農家がこれ以上借入する余力がなくなる傾向にあるため、目標値には至らないものの昨年度より1,100m ² ほど増加し、耕作放棄地解消につなげることができた。									

連番	13	事業名	豊川産農産物のブランド化・販路開拓への支援					担当課	農務課
事業内容	豊川産農産物のブランド化を図り、付加価値を高めるため豊川産農産物のPRを図るとともに、販路開拓の取組に対して支援を行う。 主要農産物:大葉、トマト・ミニトマト、スプレー菊、バラ、いちご							R4 事業費	3,702千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規開発加工品数(品/年度)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	○
	実績値	2	1	1	1				
自己評価の理由									
豊川産農産物の加工品として、豊川の特産品の「大葉」を使った「豊川大葉のクラフトコーラ」を新規開発し、豊川産農産物の付加価値を高め、ブランド化に向けて支援することができた。									

連番	14	事業名	地産地消、食育推進への支援					担当課	農務課
事業内容	豊川ブランドとなる地元食材を活用し、地産地消の推進に向けた農業体験、調理教室の開催やイベント開催における啓発を行う。							R4 事業費	701千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
農業体験・調理教室等参加人数(人/年度)	目標値	50	50	50	50	50	50	50	△
	実績値	143	19	55	14				
自己評価の理由									
農業体験・調理教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、食育キッチンファーム、食育ツアーを中止したため、参加者数は前年度より減少したが、おもてなしレシビグランプリを開催し、食育の推進を図ることができた。									

連番	15	事業名	既存事業者への多様な産業活性化に向けた支援					担当課	商工観光課
事業内容	豊川商工会議所が実施するアンテナショップや観光ブースなどの複合的な機能を有するテナントの設置に要する経費や、事業者などが計画的に実施する事業拡大などに要する経費について補助を行うとともに、地域経済循環セミナーを開催する。							R4 事業費	34,139千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地域商業強化推進事業補助事業者数(件/年度)	目標値	—	—	—	—	10	10	10	△
	実績値	—	—	—	—	3			
自己評価の理由									
強い事業者育成事業の講座では想定を上回る事業者が参加し事業計画書を作成したものの、作成した事業計画は複数年度の計画であって、令和4年度に事業拡大などを実施する事業者が少数であったため、補助件数の目標値は達成できなかったが、セミナーの開催などにより既存事業者を支援するとともに、豊川商工会議所が実施するアンテナショップなど複合的な機能を有するテナント設置に要する経費を補助し、既存事業者への支援体制を整えることができた。									

基本目標② ひとの流れづくり

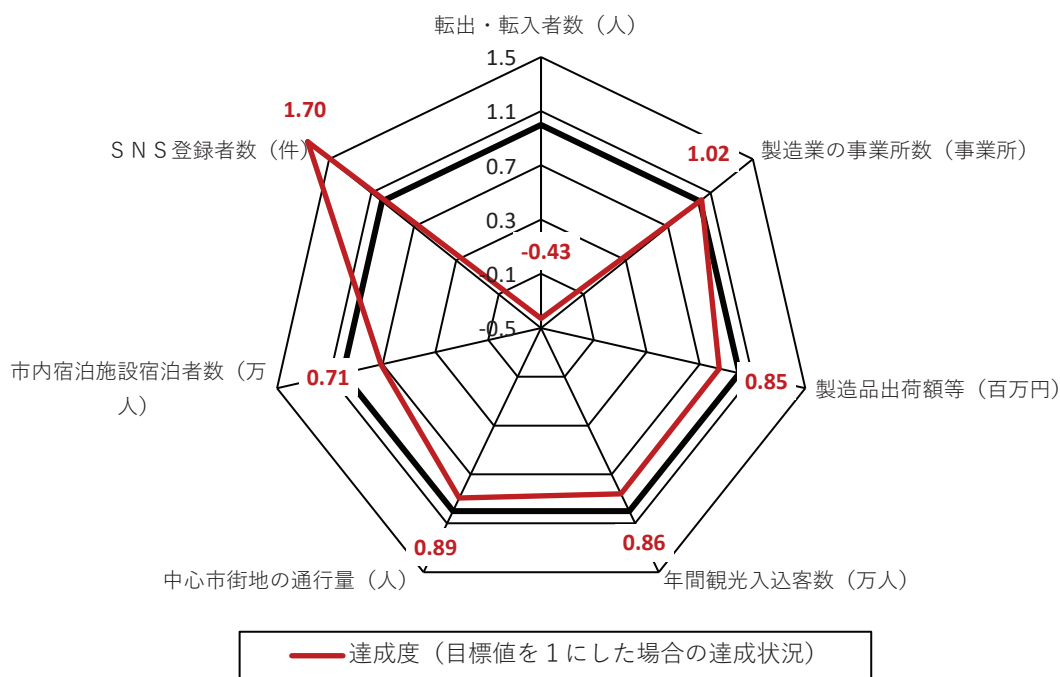
【基本的方向】

製造業を軸とした魅力ある企業の集積を図りつつ、既存企業の機能強化を図ります。
また、魅力ある地域資源を国内外に積極的に発信するとともに、テレワーク関連施策などを通じて、本市へ「ひと」を呼び込む流れをつくります。

基本目標② 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
転出・転入者数(人)	実績値①(出生・転入－死亡・転出)	+445	+550	+204	-89	-215		+500
	達成度	—	A	D	D	D		
	実績値②(転入－転出)	+718	+1,021	+559	+404	+448		—

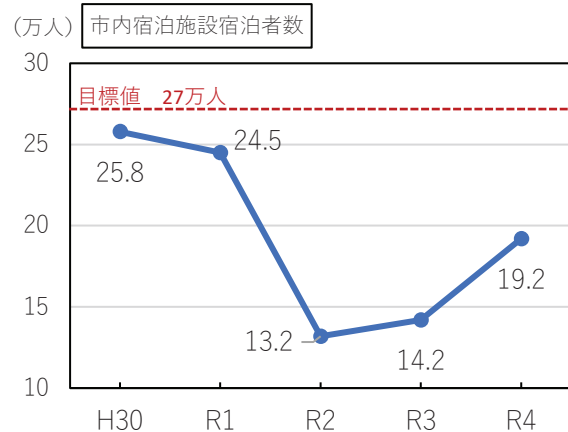
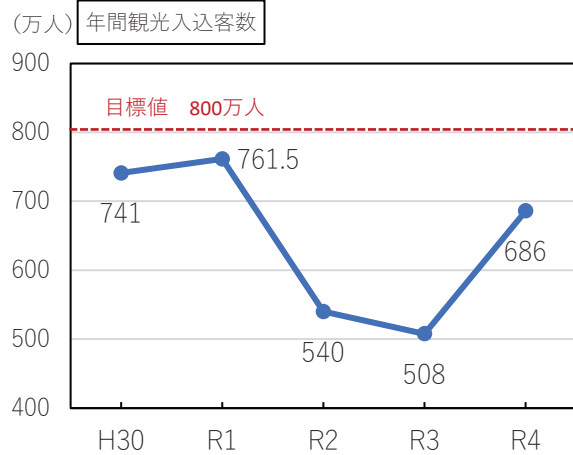
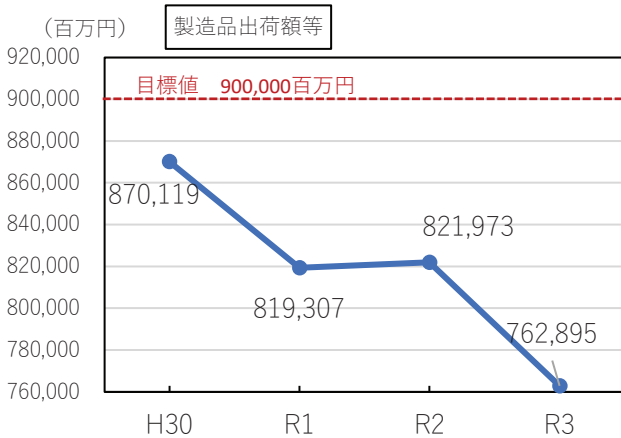
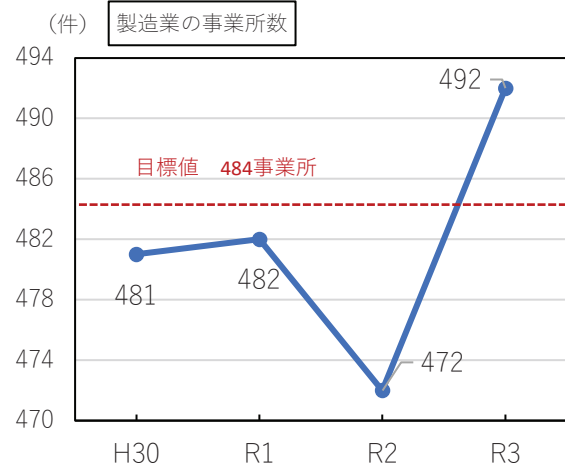
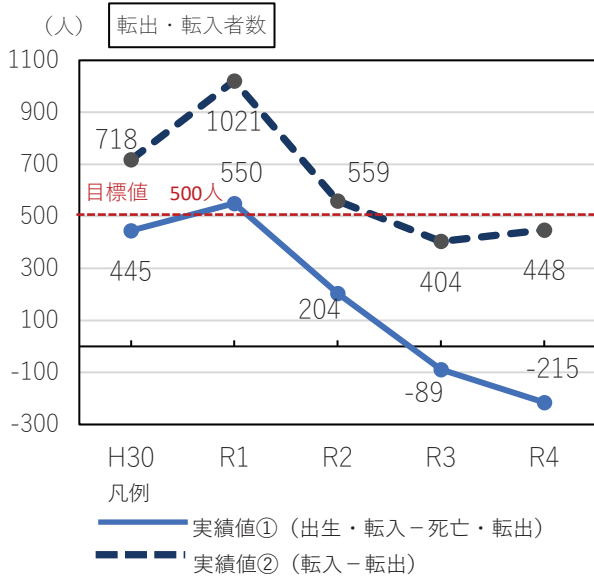
1. 達成状況レーダーチャート



2. 評価

内部評価分析 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIのうち、「製造業の事業所数」と「SNS登録者数」が目標値を超え、目標値達成率は28.6%(7項目中2項目)となった。 ・基本目標②ひとの流れづくりは、新型コロナウイルス感染症により大きく影響を受けたが、新型コロナウイルス感染症の流行以降に実績値が大きく落ち込んだ「年間観光入込客数」や「中心市街地の通行量」などは回復しており、また、「転出・転入者数」は、全体的には死亡・転出者数が増加しているものの、社会増減数(転入－転出)では改善傾向にあることから、ひとの流れづくりの各種施策が効果を発揮しつつあると評価する。
外部評価検証 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIのうち、「転入・転出者数」は落ち込んでいるものの、「転入－転出」(社会増減)は前年度から増加に転じており、人口の流入という点では施策の効果が発揮されていると考えられる。 ・人口の社会増を目指すことは、いかに住みよさを実感できるまちづくりをするかという都市間競争でもある。今のところ豊川市は健闘しているのではないかと考える。 ・転入－転出がプラスである一方で、出生・死亡者を含む人口でマイナスになっていることについては、十分にその原因を追究すべきである。

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



基本目標② ひとの流れづくり

施策(1) 企業立地・産業集積の推進

- 東名高速道路や国道1号、国道23号、国道151号などの道路ネットワークを生かした産業集積を図るため、新たに進出する企業の誘致に向けた支援を行います。
- 地域の経済、雇用を支える既存企業の市内における再投資などを支援します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
製造業の事業所数(事業所)	実績値	481	482	472	492	—		484
	達成度	—	B	B	A	—		
製造品出荷額等(百万円)	実績値	870,119	819,307	821,973	762,895	—		900,000
	達成度	—	B	B	B	—		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・「企業立地支援策の啓発」における「企業等への訪問件数」は目標に達していないものの、オンライン面談や電話での相談を活用し、企業への働きかけを増やすことができた。</p> <p>・工場などの新增設に対する再投資を促進する補助制度や御津1区第2期分譲用地に特化した独自の補助制度の活用により、新たな企業の進出等の効果が見込まれる。</p> <p>・KPIについて、「製造品出荷額等」は前年度から59,078百万円減少しているものの、「製造業の事業所数」は前年度から20事業所増加となっていることから、企業立地・産業集積に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。</p>
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・KPIについて、「製造業の事業所数」は前年度から20事業所増加しており、施策の効果が発揮できていると考える。「製造品出荷額等」については、行政の関与は限定的になると思われるが、今後を注視しながら施策を継続してほしい。</p> <p>・東日本大震災以降の内陸工業用地への要望は少し落ち着いてきたと考えられるが、工業団地の開発は時間を要するため計画的な推進が必要である。</p> <p>・臨海部の工業用地は今後もニーズが少ないと思われ、内陸部の工業用地の整備が急務である。</p>

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	<p>施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 新規工業用地の開発など、新たに進出する企業の誘致に向けた活動を積極的に展開しながら、当施策を推進する。</p>		

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	16	事業名	新規工業用地の開発					担当課	企業立地推進課
事業内容	新たな内陸工業用地の計画的な開発を行うため、開発予定地区である白鳥地区の調査および関係機関などとの調整を行う。また、白鳥地区に次ぐ内陸工業用地(次期工業用地)の候補地選定に向けた調査を実施する。							R4 事業費	
								15,018千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
次期工業適地検討	目標値	—	2	2	2	1	1	1	○
	実績値	—	2	2	2	1			
自己評価の理由									
次期工業適地について計画通り検討を行うとともに、全地権者へ意向調査を実施し、地権者の大半から概ね事業への理解を示す回答を得ることができ、新たな内陸工業用地の計画的な開発に向けた取組を進めることができた。									

連番	17	事業名	企業立地支援策の啓発					担当課	企業立地推進課
事業内容	企業立地情報交換会の開催や、全国規模の産業展へ出展して企業誘致を行う。また、企業訪問などにより支援策の啓発を行う。							R4 事業費	
								2,816千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
企業等への訪問件数(件/年度)	目標値	60	60	60	60	60	60	60	○
	実績値	29	18	27	37				
自己評価の理由									
新型コロナウイルス感染症の影響により企業への訪問件数は目標を達成できなかったが、オンラインや電話による情報提供を積極的に行う中で、御津1区に関心のある企業に対し令和5年度内の進出に向けた働きかけを行うなど、支援策を啓発し企業誘致につなげることができた。									

連番	18	事業名	進出企業への企業立地奨励金、雇用促進奨励金、工場などの新增設に対する企業再投資促進補助金の支給					担当課	企業立地推進課
事業内容	市内の指定地域において、新たに取得した土地などに自らが操業するために工場などを新增設する企業に対し、工場などの工事着工前に交付対象事業者として認定し、操業開始後、課税された当該土地・建物の固定資産税の納付の翌年度から3年間その納付額等を奨励金として交付する。また、20年以上市内に立地する企業が工場などの新增設を行う場合に補助金を支給する。							R4 事業費	
								357,826千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
交付対象事業者の認定件数(件/年度)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	○
	実績値	1	4	1	1				
自己評価の理由									
交付対象事業者の認定件数は目標のとおり認定することができ、市外への移転も検討していた企業に対し、再投資促進補助金(認定1社)を紹介することで市内における事業継承を支えることができた。									

連番	19	事業名	御津1区第2期分譲用地取得事業補助金などの支給					担当課	企業立地推進課
事業内容	愛知県企業庁から御津1区第2期分譲用地を取得し、取得後3年以内に自らが操業するために工場などを新設する企業に、用地取得への補助や建物の固定資産税などに相当する額を交付する。							R4 事業費	
								44,623千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
交付対象事業者の認定件数(件/年度)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	△
	実績値	1	2	1	0				
自己評価の理由									
御津1区第2期分譲用地取得事業補助金交付対象事業者の認定は実現できなかったが、令和5年度の御津1区への立地契約に向けた働きかけを行うことができた。									

連番	20	事業名	トップセールスによる企業誘致					担当課	企業立地推進課
事業内容	多くの企業が集まる愛知県主催の産業立地セミナーや、豊川市企業立地情報交換会等に参加し、市の魅力を発信するとともに企業誘致につなげるための市長プレゼンを実施する。							R4 事業費	
								0千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
市長自らによる企業誘致トップセールス(回/年度)	目標値	—	2	2	2	2	2	2	○
	実績値	—	0	2	2				
自己評価の理由									
愛知県主催の産業立地セミナー(東京)と豊川市情報交換会において、市長自らのトップセールスを行い、参加企業に豊川市のPRや企業誘致に向けた効果的なPRを実施することができた。									

基本目標② ひとの流れづくり

施策(2) 地域資源の活用推進

- 豊川稲荷、御油のマツ並木や赤塚山公園、豊川いなり寿司をはじめとする歴史・文化、自然環境、特産品など本市独自の地域資源の活用により、来訪者の増加を図る施策を推進します。
- 民間団体と連携し、スポーツをはじめとした本市のにぎわい創出に向けたイベントの開催などを支援します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
年間観光入込客数(万人)	実績値	741	761.5	540	508	686		800
	達成度	—	B	C	C	B		
中心市街地の通行量(人)	実績値	58,220	51,795	41,814	38,944	51,997		58,300
	達成度	—	B	C	C	B		
市内宿泊施設宿泊者数(万人)	実績値	25.8	24.5	13.2	14.2	19.2		27
	達成度	—	B	D	C	C		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業の成果指標または活動指標について、新型コロナウイルス感染症対策を講じることで前年度から改善傾向にある事業が多く、赤塚山公園の再整備や豊川公園のテニスコート整備など施設の魅力を高め来訪者の増加を図る取組が進んでいる。 ・すべてのKPIについて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年度の数値から回復し、そのうち「年間観光入込客数」と「中心市街地の通行量」は目標値の8割を超える実績値となったことから、地域資源の活用を推進する施策の効果を発揮できていると評価する。
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚山公園の再整備で施設の魅力を高め来訪者の増加を図る取組が進められており、同公園リニューアルに向けて、市内団体によるイベント企画も行われた。今後も課題をチャンスに変える取組が必要と考える。 ・スポーツ関連の賑わい創出は効果を発揮しており、豊川公園の再整備におけるテニスコート整備などによる効果も、今後期待できる。 ・地域資源の掘り起こしとPRがまだ不十分であると感じる。地域資源については、これまでの資源を活用するだけでなく、作っていくことも必要である。 ・観光客は増えても、それが単なる移動の中継点であったりする場合と目的地である場合は経済に与える影響は違う。その辺りまで分析できるとよい。その上で実情に合った対策を行うのか、それとも確固たる目標を定めてまい進するのか、決めるべきである。

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 赤塚山公園のリニューアルに向けて、市内団体によるイベント企画が行われたことなどを踏まえ、引き続き、地域の団体等と連携し、既存の地域資源の磨き上げと新たな地域資源の発掘に取り組みながら、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	21	事業名	とよかわブランド推進事業	担当課	商工観光課・農務課・元気なとよかわ発信課				
事業内容	「豊川いなり寿司」に続く新たなとよかわブランドとして売り出していくための品目、歴史・文化資源などの選定と、それらを広めていくためのPRを展開していく。				R4 事業費 7,000千円				
成果指標または活動指標									
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
とよかわブランドを活用したプロモーション実施回数(回/年度)		目標値	14	6	4	4	4	4	○
		実績値	13	4	5	4			
自己評価の理由									
都市圏でのプロモーション活動を計画通りに実施し、「とよかわバラ」や「とよかわ大葉」などの「豊川いなり寿司」以外のブランドについてもPRを進めるなど、とよかわブランドを核とした地域活性化に向けた取組を進めることができた。									

連番	22	事業名	赤塚山公園の賑わい創出に向けた再整備	担当課	公園緑地課				
事業内容	平成5年に開園し老朽化している赤塚山公園について、安全・快適にイベントを開催できるようにするなど、利用者にとって公園の魅力向上させるため、施設の改修計画を策定し、改修を行う。				R4 事業費 373,578千円				
成果指標または活動指標									
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ぎょうぎランド来園者数(万人/年度)		目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	43.0	43.0	◎
		実績値	37.0	25.8	40.0	46.0			
自己評価の理由									
令和2年度から進めていた駐車場の拡張工事を完了し来園者の受入体制を整備したことなどにより、ぎょうぎランド来園者数は目標値を大きく上回り、リニューアルオープンに向けて、赤塚山公園のさらなる魅力向上を図ることができた。									

連番	23	事業名	スポーツイベントの活性化	担当課	スポーツ課・農務課・商工観光課				
事業内容	リレーマラソンなどへのゲストランナー招致など、参加者および観客数の多いスポーツイベントの開催に際し支援する。リレーマラソンなどのスポーツイベントにおいて、来場者へのおもてなしとして、観光PRと共に豊川いなり寿司教室を実施し、握り体験をしてみよう。				R4 事業費 3,797千円				
成果指標または活動指標									
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
リレーマラソン・シティマラソン参加者数(人/年度)		目標値	5,900	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	△
		実績値	5,931	—	—	3,569			
自己評価の理由									
リレーマラソン・シティマラソンの参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値は達成できなかったが、感染症対策を講じたうえでイベントを開催したことにより、3年ぶりにスポーツに親しむ機会を提供することができた。									

連番	24	事業名	トップアスリートふれあい交流事業	担当課	スポーツ課				
事業内容	小・中・高校生を直接指導するトップアスリートを招へいする。				R4 事業費 470千円				
成果指標または活動指標									
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
教室参加者数(人/年度)		目標値	200	200	200	200	200	200	◎
		実績値	235	45	41	221			
自己評価の理由									
トップレベルの競技者や指導者によるスポーツ教室の教室参加者数が目標値を上回り、未来を担う多くの児童・生徒のスポーツへの関心や技術向上の意欲を高め、夢と感動を与えるきっかけを作ることができた。									

連番	25	事業名	スポーツ合宿への支援	担当課	スポーツ課				
事業内容	スポーツ合宿の誘致による交流人口の増加を図るため、スポーツ合宿の受入れ環境などの情報発信や申し込みの効率化を図るとともに、合宿での宿泊費用を一部助成する。また、商談会を活用したプロモーション、合宿を行う団体や旅行会社へのPRを行い、スポーツ合宿の誘致を推進する。				R4 事業費 3,784千円				
成果指標または活動指標									
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
合宿宿泊者数(人/年度)		目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	◎
		実績値	1,012	186	768	1,385			
自己評価の理由									
観光協会と連携して、チラシやホームページを活用し県内外へのPR活動を行った結果、合宿宿泊者数は目標値を上回り、スポーツ合宿の誘致による交流人口の増加を図ることができた。									

連番	26	事業名	中心市街地活性化事業	担当課	都市計画課				
事業内容	中心市街地の活性化を図ることを目的に実施するイベントなどに対し、経費の支援や人的支援を行う。				R4 事業費 1,025千円				
成果指標または活動指標									
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
中心市街地の通行量(人/2日)		目標値	58,400	59,550	53,300	54,950	56,600	58,300	○
		実績値	51,796	41,814	38,944	51,997			
自己評価の理由									
新型コロナウイルス感染症対策に関する規制緩和を受け、イベントなどを実施することで、中心市街地へ出かける機運を高め通行量の回復を支えることができた。									

基本目標②－施策(2) 地域資源の活用推進

連番	27	事業名	豊川公園の多機能化への再整備					担当課	公園緑地課・スポーツ課
事業内容	中心市街地に位置する豊川公園を活用して、地方創生を充実させ、より推進していくものとして賑わいを創出するため、再整備により利用者のスポーツや、健康づくり、イベント、サービス、駐車機能などを充実させ、総合体育館、陸上競技場、野球場、テニスコートなどの既存施設のより一層の活用を図る。							R4 事業費	
								631,332千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
運動施設利用者数(人/年度)		目標値	417,000	420,500	424,000	427,500	431,000	434,500	○
		実績値	420,355	225,924	343,735	412,726			
自己評価の理由									
運動施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、目標値に達しなかったが、令和4年度に大規模な大会が開催できる12面のテニスコートとクラブハウスの整備工事が完了したことで、利用者が一層スポーツに親しめる環境を整えるとともに、キュパティーン広場とこども広場北側に位置する健康づくり広場・芝生広場、外周園路の一部整備を完了させ、豊川公園全体の賑わい創出に資する整備を進めることができた。									

連番	28	事業名	文化活動を通じた環境整備					担当課	文化振興課
事業内容	茶室「心々庵」をリニューアルすることで利便性を高め、茶道文化に親しむ機会を創出し、時代に即した伝統文化の振興を図るため、立礼席(バリアフリー化)および水屋等の新設工事並びに既存建物の劣化箇所の修繕工事を実施する。あわせて、郷土史に関する展覧会をはじめ、郷土作家の作品や現代美術、地域間交流をテーマとした展覧会を開催する。							R4 事業費	
								127,028千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
茶室「心々庵」の改修		目標値	—	基本設計	実施設計	改修整備工事	—	—	○
		実績値	—	基本設計	実施設計	改修整備工事			
自己評価の理由									
茶室「心々庵」に立礼席や水屋を新設する改修工事などを計画通り完了し、利用者の利便性を高めることができ、茶道文化に親しむ機会の創出に向けた環境を整えることができた。									

連番	29	事業名	歴史遺産の利活用					担当課	生涯学習課・商工観光課
事業内容	本市の歴史を象徴する地域資源として整備した施設の活用を推進するために、ボランティアによるガイド活動や文化財を生かした学習活動・情報発信などの各種事業を行う。							R4 事業費	
								9,128千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
三河天平の里資料館・平和公園・大橋屋の来園者・来館者数(人/年)		目標値	50,000	51,000	40,000	40,000	40,000	40,000	○
		実績値	38,235	40,572	33,881	33,617			
自己評価の理由									
各施設の来園者・来館者数は、コロナ渦であったが感染症対策に留意し各種イベントを実施したことで、前年度と同等の来園者数を確保し、歴史遺産の利活用のため整備した施設を有効に活用することができた。									

基本目標② ひとの流れづくり

施策(3) シティセールス・観光の振興を核とした移住・交流等人口の拡大の推進

- 国内外への情報発信など、シティセールスを強化し、外国人をはじめ、市域内における交流の促進を図るとともに、関係人口の創出・拡大を図ります。
- 観光名所などにおける周遊促進を図るため、観光ルートの整備やおもてなし人材による魅力発信などの観光振興を推進します。
- 豊川版ローカルツーリズム、着地型観光などの新たな観光ニーズへの対応強化を図ります。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
年間観光入込客数(万人)	実績値	741	761.5	540	508	686		800
	達成度	—	B	C	C	B		
市内宿泊施設宿泊者数(万人)	実績値	25.8	24.5	13.2	14.2	19.2		27
	達成度	—	B	D	C	C		
SNS登録者数(件)	実績値	8,403	10,236	12,261	14,582	17,042		10,000
	達成度	—	A	A	A	A		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・各事業について、インバウンドの来訪者数や宿泊者数は低迷しているものの、シティセールスの推進や観光の振興に関する事業は概ね円滑に進捗しており、「豊川って、豊かだ」キャンペーンによる新たな魅力発信を展開している。</p> <p>・「年間観光入込客数」と「市内宿泊施設宿泊者数」は前年度から増加し、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあり、また、シティセールスにつながる「SNS登録者数」は引き続き件数が増加していることから、移住・交流等人口の拡大に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。</p>
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・KPIについて、「SNS登録者数」は大きく目標値を上回っていることから、その登録者を有効に活用して移住・交流人口の拡大を推進できるとよい。</p> <p>・生涯学習におけるボランティアのガイド活動は、好評で活動人数も多いため、観光に関連する事業との連携を図ることができれば、本市の交流人口の増加やおもてなし力アップにつながるのではないかと期待している。</p> <p>・体験型観光は今後も重要で、外国人にも楽しめるプログラムが増えればと期待している。</p>

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	<p>施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。</p> <p>シティセールスや観光振興につながるSNSの活用を進めるとともに、観光客のニーズを的確に捉えた取組を展開しながら、当施策を推進する。</p>		

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	30	事業名	インバウンド対策事業				担当課	商工観光課	
事業内容		近年の訪日外国人観光客の急増、国および県における観光施策に基づき、これまで豊川商工会議所が実施してきた「豊川インバウンド促進事業」の成果と浮かび上がってきた問題点などを踏まえ、観光協会と連携して外国人観光客の誘客による地域の活性化を促す取組を支援する。						R4 事業費	0千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
外国人宿泊者数(人/年度)		目標値	—	26,000	26,000	—	—	—	△
		実績値	52,079	2,706	187	670			
自己評価の理由									
外国人宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き低迷したが、インバウンドの復活を見据えた対策として新たなプロモーションの検討を行い、アフターコロナにおける誘客のためのアイデアなどを整理することができた。									

連番	31	事業名	都市圏プロモーション事業				担当課	商工観光課	
事業内容		とよかわブランドとして認定されたとよかわ手筒火花、豊川稲荷、とよかわバラなどの観光資源を活用し効果的にプロモーションを行う事業に対して補助することで、都市圏のイベントスペースにて観光・シティセールス活動などを展開し、来訪者の増加を図る。						R4 事業費	49,210千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
とよかわブランドを活用したプロモーション実施回数(回/年度)		目標値	14	6	4	4	4	4	○
		実績値	13	4	5	4			
自己評価の理由									
とよかわブランドを活用したプロモーションを都市圏において計画通り実施するとともに、観光協会が認定したとよかわバラを始めるとよかわブランドを活用し、様々な地域のイベントスペースでの観光やブランド品のPRを実施することができた。									

連番	32	事業名	観光ルート整備事業				担当課	商工観光課	
事業内容		豊川市推奨観光ルートを活用したウォーキングイベントや、市民向け観光資源探訪ツアーを実施する。また、それに伴う観光案内看板の修繕を行い、来訪者の利便性の向上と誘客を図るとともに、市民へ観光資源や周遊ルートを周知することにより、市民への情報発信につなげ観光ルートをPRする。						R4 事業費	1,214千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光資源探訪ツアー開催数(件/年度)		目標値	2	2	2	2	2	—	△
		実績値	1	—	—	1			
自己評価の理由									
観光資源探訪ツアー開催数は、新型コロナウイルスの感染拡大により開催制限を受けていたが、制限が緩和されたことにより1回開催することができ、市内外に向けた情報発信やPRIにつなげることができた。									

連番	33	事業名	観光おもてなし力促進事業				担当課	商工観光課	
事業内容		市民向け観光資源探訪ツアーなどを実施し、市民へ観光資源および観光ルートを周知することにより、市民からの情報発信につなげ観光ルートをPRする。今まで培われてきた「おもてなしの心」を活かして、観光での「まちおこし」、「まちづくり」を担う人材の発掘と育成を行うため、観光まちづくりボランティア講座を実施する。						R4 事業費	875千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光ものしり検定参加者数(人/年度)		目標値	350	200	100	120	160	180	◎
		実績値	155	97	165	202			
自己評価の理由									
観光ものしり検定参加者数は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、減少した時期はあったものの、現地を訪れないと解答できない設問やオリジナル認定証の発行といった工夫により、リピーターを獲得したことで、目標値を上回り、観光によるまちづくりを担う人材の発掘と育成を行うことができた。									

連番	34	事業名	シティセールス推進事業				担当課	元気なとよかわ発信課	
事業内容		まちの魅力を市内外へ発信するため、都市圏におけるPR活動をはじめ、イベントサポート制度による団体支援、PRグッズの作成など、「豊川市シティセールス戦略プラン」に位置づけた取組により、シティセールスの推進を図る。						R4 事業費	17,870千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
都市圏プロモーション活動(回/年度)		目標値	2	2	2	2	2	3	◎
		実績値	2	0	1	2			
自己評価の理由									
都市圏プロモーション活動を、日本橋や豊川稲荷東京別院節分祭において計画通り実施するとともに、「豊川って、豊かだ」キャンペーンを実施し、短編動画7本(視聴回数約8.6万回)、豊川市制80周年記念ソング「豊川、豊か」ミュージックビデオ(視聴回数約1.4万回)を配信するなど、新たな形で本市の魅力を市内外に発信することができた。									

連番	35	事業名	ふるさと納税および企業版ふるさと納税の活用を通じた関係人口の創出・拡大				担当課	元気なとよかわ発信課	
事業内容		新型コロナウイルス感染症拡大への対策事業の一環として、市内事業者によるふるさと納税返礼品を拡充し、関係人口創出の機会を増加させる。また、企業版ふるさと納税についても豊川市にゆかりのある企業等に対して周知・啓発を行い、豊川市の取組への応援機運を醸成する。						R4 事業費	67,307千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
返礼品数(品/年度)		目標値	—	90	90	310	350	390	◎
		実績値	—	107	244	393			
自己評価の理由									
ふるさと納税の返礼品数について、目標値を上回る拡充を達成し、関係人口創出の機会を増加させることができた。									

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり

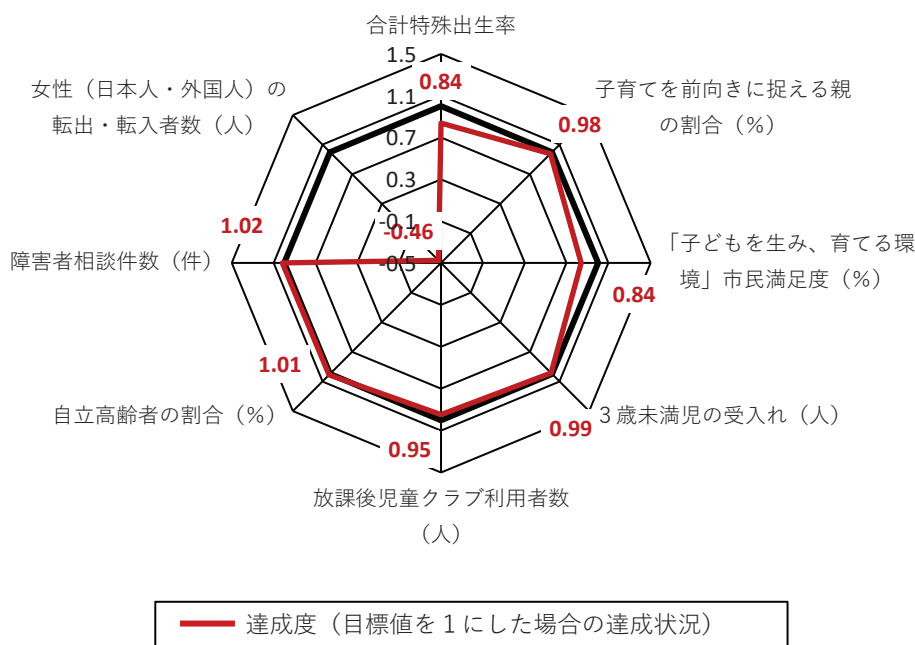
【基本的方向】

若い世代が将来に不安なく結婚し、希望する時期に安心して出産や子育てができる「子育てしやすい豊川市」といわれるような環境をつくるとともに、誰もが活躍できる地域社会をつくります。

基本目標③ 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
合計特殊出生率	(上段:数値)	1.59	1.42	1.56	1.37	—		1.63
	(下段:達成度)	—	B	B	B	—		

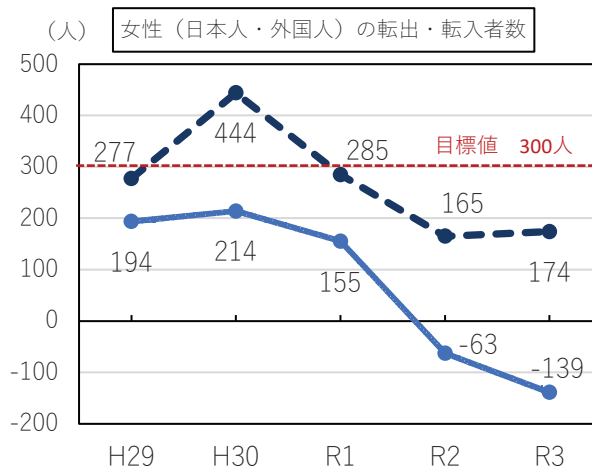
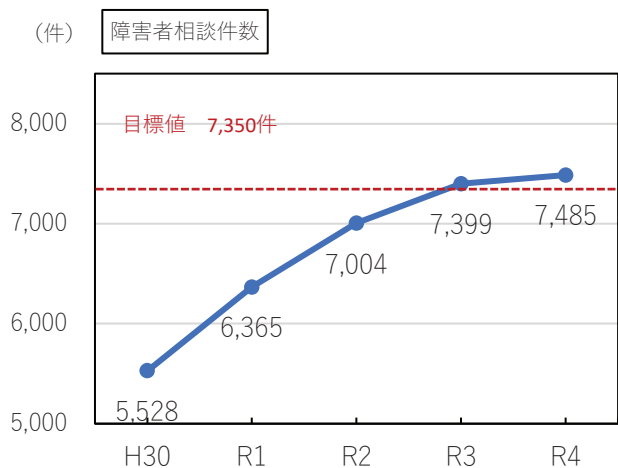
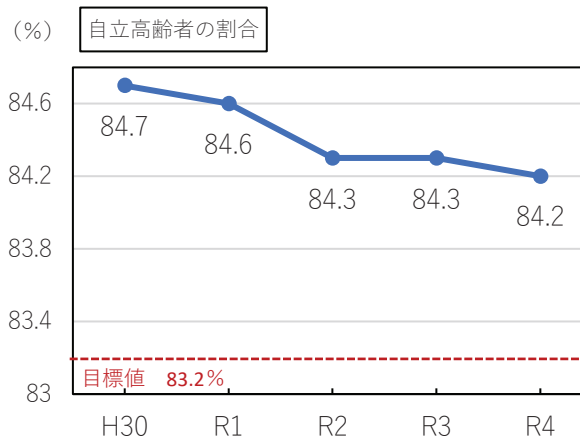
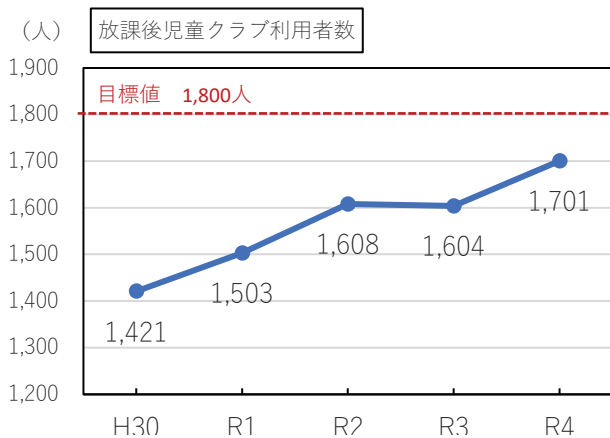
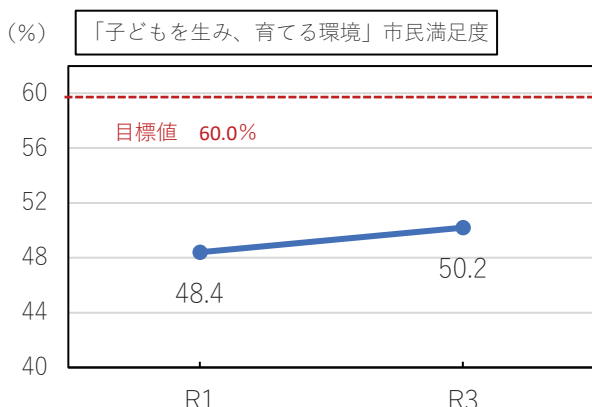
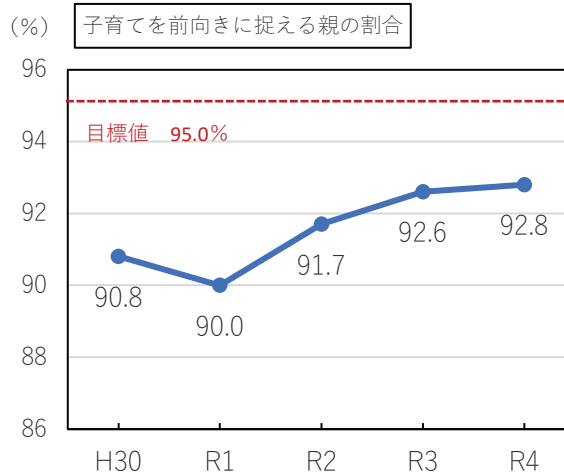
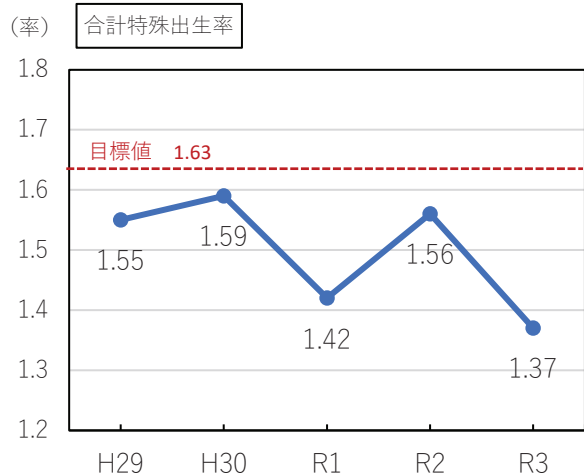
1. 達成状況レーダーチャート



2. 評価

内部評価分析 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIのうち「障害者相談件数」が目標値を超え、目標値達成率は25% (8項目中2項目)となった。 ・「合計特殊出生率」は前年度より低下したものの、国(1.30)を上回っており、「子育てを前向きに捉える親の割合」や「3歳未満児の受入れ」は前回数値より増加していることから、結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策が寄与していると評価する。
外部評価検証 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚して家族を持つことに希望が生まれるような社会でなければ、地域の活力も衰えていくばかりである。まだまだ働く女性に対し厳しい状況があり、意識の改革は重要である。 ・KPIのうち「合計特殊出生率」は国の水準は上回っているものの、愛知県(1.41)を下回っており、平成30年以降の最低値であることから、今後の動向を注視する必要がある。

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



— 実績値①（出生・転入－死亡・転出）
 - - - 実績値②（転入－転出）

施策(1) 安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援

- 一般不妊治療費の助成、育児相談、予防接種費用の助成、各種健康診査の充実など、母子の健康増進と子育てにかかる経費負担の軽減を図ります。
- 子ども達が知性や感性を磨き、豊かな人間性を身に付けることができるよう、学校環境・教育の充実を図ります。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「子どもを生み、育てる環境」市民満足度(%)	実績値	—	48.4	—	50.2	—		60.0
	達成度	—	B	—	B	—		
子育てを前向きに捉える親の割合(%)	実績値	90.8	90	91.7	92.6	92.8		95.0
	達成度	—	B	B	B	B		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・各事業は、一般的に順調に進捗しており、令和4年度から新たに妊産婦総合相談窓口を開設したことなどにより、妊産婦に対する支援体制の充実が図られている。 ・KPIについて、「子育てを前向きに捉える親の割合」は、前回調査から0.2ポイント増加し上昇傾向にあることから、安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援を行う施策の効果を発揮できていると評価する。
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・KPIの「子どもを生み、育てる環境市民満足度」や「子育てを前向きに捉える親の割合」のネガティブな回答結果と「主な事業」の関連性について常に分析すべきである。市民の生の声をKPIとすることから、この関連性がずれると成果に直結してしまうため注意を要する。 ・基本目標③のために、今後は「結婚支援事業」や「一般不妊治療費助成事業」のような、希望が満たされていない市民向けの事業にさらに力点をおいてはどうか。

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 KPIである「子どもを生み、育てる環境市民満足度」については、不満足度に留意して各種取組の検証と改善を行いながら、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	36	事業名	子育て世代包括支援事業					担当課	子育て支援課・保健センター	
事業内容	利用者支援事業として、妊娠期からの支援が必要な家庭に対し、子育て支援サービスなどを円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報の収集と提供を行い、個々のニーズに併せた助言などを行うとともに関係機関との連絡調整などの支援を行う。								R4 事業費	
									20,491千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
相談支援件数(件/年度)		目標値	628	900	900	900	1,050	1,050	◎	
		実績値	751	848	1,023	984				
自己評価の理由										
相談支援件数は目標値を上回り、行政の支援につながりにくい家庭へ積極的にアプローチして相談者に寄り添うとともに、関係機関で連携することで、子育て家庭のニーズを把握し、教育・保育施設や地域子育て支援事業の円滑な利用につなげることができた。										

連番	37	事業名	妊産婦支援事業					担当課	保健センター	
事業内容	妊娠・出産期において、身内の支援を受けられない妊産婦に対し、家事援助などのヘルパー利用に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。また、産後、身内の支援を受けられない、育児不安が強いなどの母子に対し、前向きに子育てできることを目的に産科機関に宿泊等をし、心身のケアや育児サポートを受ける産後ケアの費用を補助する。								R4 事業費	
									8,916千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
産後ケア利用者数(人/年度)		目標値	10	18	40	94	72	75	△	
		実績値	10	32	53	57				
自己評価の理由										
産後ケア事業の利用には至らないケースもあり、産後ケア利用者数は目標値には届かなかったが、産前産後サポート事業を開始し、新たな支援メニューを増やすことで、妊産婦が安心して子育てに取り組むことができるよう、サポート体制の充実を図ることができた。										

連番	38	事業名	結婚支援事業					担当課	子育て支援課	
事業内容	結婚の悩みへの寄り添い、結婚に向けての準備支援及び出合いの場の提供に係る事業を実施する。								R4 事業費	
									1,996千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
婚活イベント参加者数(人/年度)		目標値	120	120	120	120	120	120	○	
		実績値	72	—	80	80				
自己評価の理由										
婚活イベントの参加者数について、男女のバランスがとれるよう調整した結果、120人の募集に対して80人の参加となり、目標値を達成できなかったが、カップル成立数は27組と、前年度の14組を大きく上回り、結婚の希望を持つ人の出合いをサポートすることができた。										

連番	39	事業名	産婦健康診査事業					担当課	保健センター	
事業内容	妊娠・出産に向けた支援として、出産後の母体の健康確保を図るとともに、経済的な負担を軽減するため産婦健康診査の公費負担を1回実施する。								R4 事業費	
									6,453千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
産婦健康診査受診件数(件/年度)		目標値	1,699	1,518	1,478	1,425	1,500	1,500	○	
		実績値	1,401	1,456	1,343	1,297				
自己評価の理由										
産婦健康診査について一人当たり1回5,000円の補助を実施することで、受診票交付後に転出する等により資格を喪失した場合を除き、ほぼすべての対象者の産婦健康診査受診を実現できており、産後うつや早期発見や支援につなげるとともに、経済的負担を軽減することができた。										

連番	40	事業名	乳幼児健康診査事業					担当課	保健センター	
事業内容	乳幼児の健康の保持増進および発育発達状況の確認、並びに異常の早期発見や早期治療のため、乳児健康診査の公費負担を2回実施するとともに、4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査および2歳児の歯科健康診査を集団で実施する。								R4 事業費	
									36,259千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
集団健康診査受診率(%/年度)		目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	○	
		実績値	93.1	92.7	92.5	93.9				
自己評価の理由										
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で受診を控える家庭もあったため、集団健康診査受診率は目標値を達成できなかったが、未受診児の家庭には電話、家庭訪問などで状況把握と合わせて受診勧奨を実施することで、前年度と同程度の受診率を維持することができた。										

連番	41	事業名	こんにちは赤ちゃん事業					担当課	保健センター	
事業内容	4か月児健康診査の前までに乳児がいるすべての家庭を訪問することにより、子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握を行い、支援が必要な家庭については、適切なサービス提供を行う。								R4 事業費	
									5,316千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
保健センター訪問者数(人/年度)		目標値	1,307	1,390	1,309	1,247	1,400	1,400	○	
		実績値	1,303	1,386	1,304	1,244				
自己評価の理由										
出生数が減少したことにより、訪問者数は減少したが、対象となる家庭のほぼ全てへの訪問を実施することができ、子育て情報やサービスの提供や育児相談、適切な支援ができた。										

基本目標③－施策(1) 安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援

連番	42	事業名	一般不妊治療費助成事業	担当課	保健センター						
事業内容	不妊治療(体外受精および顕微授精を除く不妊治療)に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。							R4 事業費 2,636千円			
成果指標または活動指標				R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
申請件数(件/年度)				目標値	115	115	115	140	70	70	○
				実績値	112	125	148	103			
自己評価の理由											
令和4年4月から不妊治療が保険適用となり、自己負担となる費用が大幅に減額されたことなどにより、申請件数は目標値に至らなかったが、申請者の自己負担のほぼ全額を補助することにより、不妊治療にかかる経済的な負担を軽減することができた。											

連番	43	事業名	子どもの予防接種費用助成事業	担当課	保健センター						
事業内容	現在、任意接種により行われている「おたふくかぜ」の予防接種に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。また、骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと主治医に判断された20歳未満の方が、任意で予防接種を再接種するための費用を補助する。							R4 事業費 2,462千円			
成果指標または活動指標				R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
おたふくかぜワクチン接種率(%/年度)				目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	◎
				実績値	87.4	86.9	67.5	90.2			
自己評価の理由											
おたふくかぜワクチン接種率は目標値を上回り、ほけん特集号やホームページなどによる周知を通じて、自己負担が生じるにも関わらず定期接種のMRワクチン1期(接種率96.8%)や水痘ワクチン1回目(接種率94.0%)と同水準の接種率とすることができた。											

連番	44	事業名	子ども医療費支給事業	担当課	保険年金課						
事業内容	令和2年4月から、無料化の範囲を出生から中学3生年度末までの入通院に加え、高校生世代の入院まで拡大し医療費保険診療分の自己負担額を全額支給することで、子育て支援の一助として経済的な負担の軽減を図る。							R4 事業費 796,840千円			
成果指標または活動指標				R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
延受診件数(件/年度)				目標値	398,842	418,432	398,806	431,879	437,736	437,736	○
				実績値	392,769	301,063	339,341	357,352			
自己評価の理由											
高校生3年生世代までの入院に係る医療費保険診療分自己負担額の全額助成を継続して実施することで、子育てにかかる経済的な負担を軽減することができた。											

連番	45	事業名	子育て応援金支給事業	担当課	子育て支援課						
事業内容	令和2年4月1日以降に生まれた子どもを養育する方を応援するため、1歳になる誕生月の1日において、豊川市に住民登録のある児童1人につき3万円を、その養育者に支給する。							R4 事業費 40,450千円			
成果指標または活動指標				R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
申請件数(件/年度)				目標値	—	—	1,500	1,500	1,500		○
				実績値	—	—	1,408	1,340			
自己評価の理由											
令和4年度に1歳になる児童が前年度より少なかったため申請件数は減っているが、対象者のほぼ全員に応援金を給付し、子育てにかかる経済的な負担を軽減することができた。											

連番	46	事業名	学校教育環境の整備	担当課	教育庶務課						
事業内容	子どもたちが衛生的で安全な環境で学校生活が送れるよう、老朽化した小中学校校舎及び屋内運動場のトイレの改修工事を実施する。							R4 事業費 0千円			
成果指標または活動指標				R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
改修工事				目標値	5校(校舎)	8校(校舎)	図面作成(屋内運動場・34校)	7校(屋内運動場)	10校(屋内運動場)	12校(屋内運動場)	×
				実績値	5校(校舎)	8校(校舎)	図面作成(屋内運動場・34校)	—			
自己評価の理由											
物価上昇により工事価格が高騰し、入札が不調となったため、工事に着手することができなかった。											

連番	47	事業名	学級運営支援事業	担当課	学校教育課						
事業内容	発達障害など支援が必要な児童生徒の在籍する学級に学級運営支援員を派遣する。支援員の派遣については、市内各小中学校から出された希望をもとに、市教育委員会が必要と認めた学校に派遣する。							R4 事業費 72,544千円			
成果指標または活動指標				R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
学級運営支援員の配置人数(人/年度)				目標値	74	79	84	89	94	94	○
				実績値	74	79	84	89			
自己評価の理由											
学級運営支援員を計画どおり配置し、発達障害のある児童・生徒などが落ち着いて授業を受けることができる体制を整えることができた。											

連番	48	事業名	ICTを活用した教育環境(GIGAスクール構想)の推進					担当課	学校教育課
事業内容	学習指導要領に準拠した情報教育と情報モラル教育の充実を図るとともに、ICT機器を活用した授業を進めていく。日々の教育活動の中で、教員や児童生徒によるICTを活用した積極的かつ効果的な取組を推進し、より良い授業の実現、児童生徒の学力の向上につなげていく。							R4 事業費	
	成果指標または活動指標							R4 事業費	
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
学習に意欲的に取り組んだと自己評価した児童・生徒の割合(%)	目標値	56.0	59.0	59.0	62.0	62.0	65.0	○	
	実績値	56.2	60.0	62.7	63.0				
自己評価の理由									
市内小中学校の全児童生徒へ1人1台の学習者用端末の配備し、令和3年度2学期から本格的な活用が始まったところであり、引き続き利活用の充実に取り組む必要があるが、学習に意欲的に取り組んだと自己評価した児童・生徒の割合は目標値を上回り、ICTに精通した民間の支援員と学校環境に精通した教員経験者の支援員が互いの長所を発揮し、学校教育のICT活用を推進することができた。									

連番	49	事業名	豊川産農産物を活用した学校給食の推進					担当課	学校給食課
事業内容	学校給食における豊川産農産物の使用割合を向上させる。							R4 事業費	
	成果指標または活動指標							R4 事業費	
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
豊川産農産物使用割合(品目ベース・%)	目標値	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	12%以上	12%以上	◎	
	実績値	10.3	11.6	12.2	12.5				
自己評価の理由									
豊川産農産物使用可能状況調査の結果に基づき発注を行うことで、豊川産農産物使用割合は目標値を上回り、豊川産農産物を積極的に活用できた。									

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり

施策(2) 保育サービス・子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくり

- 希望するすべての人が安心して子どもを預け、仕事と子育てを両立できるように、保育サービスや保育施設などの充実を図ります。
- 子育て支援センターを軸に、関係機関・団体が連携し、地域全体で子ども達を見守り、子育てを支援する仕組みを構築します。
- 総合保健センターの整備をはじめとした子育てに配慮した設備の充実、情報提供など、子育てにやさしいまちづくりを推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
3歳未満児の受入れ(人)	実績値	1,316	1,343	1,412	1,458	1,479		1,500
	達成度	—	B	B	B	B		
放課後児童クラブ利用者数(人)	実績値	1,421	1,503	1,608	1,604	1,701		1,800
	達成度	—	B	B	B	B		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・各事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績が少ないものはあるが、保育園の遊具整備や児童クラブの増設など、おおむね円滑に進捗している。 ・KPIについて、「3歳未満児の受入れ」、「放課後児童クラブ利用者数」ともに、目標に向けておおむね順調に推移しており、保育サービス・子育て支援サービスの充実が図られており、子育てにやさしいまちづくりに向けた施策の効果を発揮できていると評価する。
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・子育ては母親の負担が大きくなりがちであるが、夫婦だけでなく社会で子どもを育て、企業も協力を惜しまない環境を作っていくことが肝要である。 ・3歳未満児の受入れについては毎年増加していることから、取組については評価できる。共働き家庭が安心して生活できるように放課後児童クラブの受入れ時間の拡大、受入れ施設の増加なども今後検討されたい。 ・物価高騰を踏まえて、今後も生活が苦しい家庭への配慮を重点にした施策への注力が望まれる。

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 子育てにやさしいまちづくりのため、地域社会全体で子育てを支援していく機運醸成を図りながら、当施策を推進する。		

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	50	事業名	育休明けの入所予約制度					担当課	保育課
事業内容	産休・育休明けの保護者が年度途中でも安心して職場復帰できるように保育所への入所決定を早い段階で行う仕組みを構築する。							R4 事業費	14,001千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
入所予約児童数(人/年度)	目標値	50	50	50	50	50	50	50	○
	実績値	39	39	42	41				
自己評価の理由									
用意した予約枠が埋まった保育所があった一方、予約枠を設けたものの入所希望がなかった保育所があり、保護者のニーズと予約枠のミスマッチが生じたため入所予約児童数は目標値を達成できなかったが、前年度と同程度の制度利用があり保護者の職場復帰を支えることができた。									

連番	51	事業名	保育所などの給食費減免事業					担当課	保育課
事業内容	子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育て支援に寄与するため、豊川市に住所を有する保育所などに通う全ての児童の給食費(主食費、副食費)を減免する。							R4 事業費	86,472千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
減免対象者数(人/年度)	目標値	—	—	4,900	4,778	4,674	4,736		○
	実績値	—	—	4,688	4,536				
自己評価の理由									
保育所等の利用児童数が前年度より少なかったため対象者数は減っているが、保育所等に通う全ての児童の給食費を一部または全部減免を実施し、子育てにかかる経済的な負担を軽減することができた。									

連番	52	事業名	保育施設などの環境整備					担当課	保育課
事業内容	乳幼児期にふさわしい園庭遊具の整備や老朽化したトイレの改修にあわせた洋式化を実施するなど、保育・教育環境の向上を図る。							R4 事業費	12,470千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
保育園遊具整備数(園/年度)	目標値	—	—	—	5	3	3		○
	実績値	—	—	—	4				
自己評価の理由									
遊具整備を予定していた保育所のうち1か所において、園舎整備とのスケジュール調整により先送りとなったが、概ね順調に遊具やトイレの整備を実施し、保育・教育環境を向上させることができた。									

連番	53	事業名	保育所の施設整備					担当課	保育課
事業内容	公立保育所において、老朽化の進む施設の改築・統廃合を実施し、3歳未満児の受入拡充を図る。また、民間事業者に対して、老朽化の進む施設の整備に係る費用を補助することにより、3歳未満児の受入拡充を図る。							R4 事業費	425,870千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
【民間保育所】整備費補助実施園数(園/年度)	目標値	3	1	2	2	2	2		○
	実績値	3	1	2	2				
自己評価の理由									
民間保育所の整備費補助を予定どおり実施し、保育環境向上に向けた取組を支援することができた。									

連番	54	事業名	総合保健センターの整備					担当課	保健センター
事業内容	関係団体と調整を実施し、総合的な医療・健康対策の拠点として、総合保健センター(仮称)を建設する。							R4 事業費	52,817千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
工程計画	目標値	—	基本構想策定	基本計画策定	基本設計	実施設計	建設工事着手		○
	実績値	—	—	基本構想策定・基本計画策定	基本設計				
自己評価の理由									
医師会を始めとする関係団体との間で行った調整内容を基本設計に反映させたうえで、工程計画通りに整備事業を進めることができた。									

連番	55	事業名	時間外保育事業					担当課	保育課
事業内容	多様な保育需要に対応するため、平常保育の時間を超えて、時間外保育を実施する。 平日:午前7時30分~午後7時30分-17園、午前7時30分~午後6時30分-1園、午前7時30分~午後6時-29園 土曜日:午前7時30分~午後2時-46園、午前7時30分~午後6時-1園							R4 事業費	277,999千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
延べ利用児童数(人/年度)	目標値	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	◎
	実績値	21,380	29,225	30,125	30,826				
自己評価の理由									
時間外保育について、全ての利用希望者を受け入れ、安心して仕事と子育てを両立できるような保育サービスを提供することができた。									

基本目標③ー施策(2) 保育サービス・子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくり

連番	56	事業名	一時預かり事業	担当課	保育課				
事業内容	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育、保護者の疾病などによる緊急時の保育などの需要に対応するため、一時預かり事業を実施する(12園)。							R4 事業費 73,507千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
延べ利用児童数(人/年度)		目標値	8,424	7,338	6,110	5,507	6,046	6,046	◎
		実績値	7,367	4,799	5,507	6,144			
自己評価の理由									
児童発達支援センターや子育て支援センター等で実施する子育て相談にあわせて制度を周知することにより、延べ利用児童数は目標値を上回り、利用者の拡大につなげることができた。									

連番	57	事業名	病児・病後児保育事業	担当課	保育課				
事業内容	病氣中又は病氣の回復期の子どもで、保護者の就労などの理由により保護者が保育できない際に、専用施設で子どもの保育を実施する。							R4 事業費 10,043千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
延べ利用児童数(人/年度)		目標値	500	500	500	500	1,000	1,000	△
		実績値	373	9	130	118			
自己評価の理由									
新型コロナウイルス感染症対策のため、発熱等の症状によって施設利用が困難な場合があり、延べ利用児童数は前年度を下回ったが、病氣中又は回復期の子どもであっても安心して預けられる環境を提供することができた。									

連番	58	事業名	子育て支援センター事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	社会環境の変化、少子化および核家族化の進展などに伴い、育児不安や親の孤立化が増大する中で、社会全体で子育てを支援するため、子育て支援センターにおいて子育て不安に対する相談・指導などを行う。							R4 事業費 8,905千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
延べ相談件数(件/年度)		目標値	400	400	400	400	400	400	○
		実績値	372	400	323	384			
自己評価の理由									
新型コロナウイルス感染症の影響により、延べ相談件数は目標値を達成できなかったが、子育ての心配事や悩みについて幅広く相談に対応し、他事業・他機関と連携を図ることで切れ目のない支援を行うことができた。また、子育てに関する情報を積極的に発信するとともに、前年度は中止した各種イベントを感染症対策を行いながら開催することができた。									

連番	59	事業名	ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	育児の応援をしてほしい方(依頼会員)と育児の援助をしたい方(援助会員)を会員として登録し、依頼会員の求めに応じて援助会員を紹介する。							R4 事業費 2,024千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
活動件数(件/年度)		目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	◎
		実績値	1,752	2,474	2,091	2,287			
自己評価の理由									
活動件数は目標値を上回り、育児の援助を受けたい人の子育てと、援助をしたい人による地域の子育て支援活動を支えることができた。									

連番	60	事業名	放課後児童健全育成事業	担当課	子育て支援課				
事業内容	保護者の就労又は疾病などの理由により、放課後帰宅しても保護者のいない小学校に就学している留守家庭児童を対象に児童クラブを設置し、児童の福祉の向上を図る。							R4 事業費 539,091千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
児童クラブ開設数(クラブ/年度)		目標値	46	47	49	49	51	52	○
		実績値	44	46	47	50			
自己評価の理由									
校区によっては定員を上回る利用希望があったが、児童クラブ開設数については3つの校区で増設したことにより目標値を上回り、児童の遊びや生活の場を提供することができた。									

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり

施策(3) 共生のまちづくりの推進

- 誰もが活躍できる地域社会をつくるため、女性、高齢者、障害者および外国人が共生するまちづくりを推進します。
- 高齢者の健康と体力の保持、増進を図り、地域における交流の場づくりを支援するとともに、生涯現役で働くことができる就労機会の確保を支援します。
- 障害者、外国人の希望に応じた就労や社会参加および女性の就労継続・再就職支援などに関する取組を推進します。
- 複雑・複合化した市民の支援ニーズに対応するために、重層的支援体制の整備を推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満								
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値	
自立高齢者の割合(%)	実績値	84.7	84.6	84.3	84.3	84.2		83.2	
	達成度	—	A	A	A	A			
障害者相談件数(件)	実績値	5,528	6,365	7,004	7,399	7,485		7,350	
	達成度	—	B	B	A	A			
女性(日本人・外国人)の転出・転入者数(人)	実績値①(出生・転入－死亡・転出)		194	214	155	-63	-139		300
	達成度		—	C	C	D	D		
	実績値②(転入－転出)		277	444	285	165	174		—

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・各事業の成果指標または活動指標について、市民参加型の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績が目標値に達していないものはあるが、障害者や外国人からの相談件数の増加に対しては適切な対応が図られている。</p> <p>・KPIについて、「障害者相談件数」は、障害者数の増加や相談内容の多様化、困難化に伴い、増加傾向にあり、「女性(日本人・外国人)の転出・転入者数」は、全体としては死亡・転出者数が増加しているものの、社会増減数(転入－転出)では改善傾向にあることなどから、共生のまちづくりに向けた施策が進捗していると評価する。</p>
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・義務教育を終え社会に出た外国人の子どもに対して、サポートできる体制を整えることが課題である。これから社会を形作り、共生していく隣人としての視点こそ必要となってくると考える。</p> <p>・人生100年時代を見据え、今後は特にワーク・ライフ・バランスの推進に期待する。シルバー人材も含めて高齢者の「仕事」創出につながるとうい。</p>

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 人生100年時代を見据え、高齢者の仕事づくりや外国籍居住者との交流など、誰もが安心して生活し、活躍できる地域社会の実現を目指し、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	61	事業名	介護予防普及啓発事業および地域介護予防活動支援事業					担当課	介護高齢課
事業内容	高齢者を対象に介護予防の意識を高め、教室や講座の参加者や通いの場が地域で継続的に拡大していくような地域づくりを支援する。							R4 事業費	
								34,882千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
介護予防教室参加延べ人数(人/年度)			目標値	7,090	7,180	7,185	7,185	7,185	○
			実績値	6,381	3,940	5,229	5,379		
自己評価の理由									
新型コロナウイルス感染症の影響で老人クラブのいつまでもいきいき講座などのキャンセルが多く、介護予防教室参加延べ人数の目標値は達成できなかったが、行動制限の緩和等により前年度を上回っており、介護予防の意識の向上につながる取組を進めることができた。									

連番	62	事業名	在宅医療・介護連携推進事業					担当課	介護高齢課	
事業内容	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅医療・介護連携体制の構築、患者・家族への後方支援および在宅チーム医療の人材育成などを行う。							R4 事業費		
								10,441千円		
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
電子連絡帳システムに登録されている延べ患者数(人/年度)			目標値	1,800	2,300	2,950	4,000	4,500	4,800	◎
			実績値	2,019	2,931	3,611	4,419			
自己評価の理由										
電子連絡帳システムに登録されている延べ患者数について、関係団体への積極的な啓発活動の実施により登録施設数が増加したことで目標値を上回り、在宅医療・介護連携体制の充実を支えることができた。										

連番	63	事業名	シルバー人材センターへの支援					担当課	介護高齢課	
事業内容	定年退職後などにおいて、高齢者の労働能力の活用を図るための事業を実施しているシルバー人材センターに対し、事業費の一部を補助することで、生きがいづくりや社会参加などを希望する高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図る。							R4 事業費		
								32,336千円		
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
シルバー会員数(人/年度末)			目標値	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300	1,350	○
			実績値	1,124	1,154	1,214	1,244			
自己評価の理由										
会員紹介カードの活用などにより178名の新規会員が入会したものの、退会する会員もいたため、目標値を達成することはできなかったが、シルバー人材センターへ委託している高齢者世帯の日常的な生活支援を行う「ちょこっとサポート事業」の積極的な周知を通じて利用件数を増加させることができ、生きがいづくりや社会参加などを希望する高齢者の就業機会を増大することができた。										

連番	64	事業名	障害者相談支援事業					担当課	障害福祉課	
事業内容	障害者等の福祉に関する問題に、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供および助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止等の権利擁護のために必要な援助を行う。							R4 事業費		
								64,540千円		
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
障害者相談件数(件/年度)			目標値	4,207	6,365	6,550	6,750	6,950	7,150	◎
			実績値	6,365	7,004	7,399	7,485			
自己評価の理由										
障害者相談件数は目標値を上回り、困難かつ複雑なケース等への対応について、基幹相談支援センターが中核的な役割を担うとともに、市内の委託事業所も十分機能しており、全ての相談に対して適切に対応することができた。										

連番	65	事業名	障害者ワークステーション事業					担当課	人事課	
事業内容	働く意欲があるものの就労に結びつかなかった、あるいは就労する機会がなかった障害者を対象に、会計年度任用職員として採用し、庁内において集約した軽易な作業を行うことにより今後の就労に向けた業務経験を積んでいただくとともに、庁内における業務の効率化を図る。							R4 事業費		
								12,735千円		
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
ワークステーションにおける障害者雇用数(人/年度)			目標値	-	4	6	6	6	6	○
			実績値	-	4	6	6			
自己評価の理由										
ワークステーションにおける障害者雇用数は目標値を維持しており、雇用者が庁内での軽易な作業を通じて業務経験を得られるようサポートし、新たな就労につなげるための就労移行支援を実施することができた。										

連番	66	事業名	外国人児童への日本語学習機会の提供					担当課	市民協働国際課	
事業内容	日本語が未熟で小中学校に不登校や不就学の外国人児童生徒に日本語等の学習機会を提供し、小中学校への円滑な転入を図る。							R4 事業費		
								12,408千円		
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
こぎつね教室入室率(%/年度)			目標値	100	100	100	100	100	100	◎
			実績値	100	100	100	100			
自己評価の理由										
こぎつね教室への入室希望のあった児童生徒について、オンラインを活用した授業など教室運営の充実を図りながら、目標値どおり100%受け入れることができ、令和3年度より親子参加型に変更した就学前幼児を対象とする「親子プレスクール」を継続開催し、就学に向けての準備をサポートすることができた。										

基本目標③－施策(3) 共生のまちづくりの推進

連番	67	事業名	外国人受入環境整備事業	担当課	市民協働国際課					
事業内容	外国人市民が生活に関する情報や相談場所に適切・迅速に到達できるよう、多言語で情報提供や相談を行うワンストップ型の「外国人相談窓口」を市民協働国際課に設置し運営する。								R4 事業費	
									23,100千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
外国人相談窓口利用件数(件/年度)		目標値	6,700	6,900	9,000	9,000	9,000	9,000	◎	
		実績値	6,609	9,248	8,685	9,824				
自己評価の理由										
外国人相談のワンストップ型相談窓口の認知度が定着してきたため、外国人相談窓口利用件数は目標値を上回り、多言語での情報発信については、SNSやホームページなどにより、きめ細かく必要な情報を精査してスピーディに対応することができた。										

連番	68	事業名	ワーク・ライフ・バランスの推進	担当課	人権生活安全課					
事業内容	啓発チラシ・情報紙などでワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を行うとともに、男女共同参画に関する講座の中でそれに資する講座メニューを加える。また、おいでん祭にて来場者を対象にワーク・ライフ・バランスに関するアンケートを実施、啓発し、その推進を図る。								R4 事業費	
									147千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
ワーク・ライフ・バランスに関する講座の参加人数(人/年度)		目標値	64	64	64	64	64	64	○	
		実績値	50	15	22	42				
自己評価の理由										
新型コロナウイルス感染症の影響で参加希望者が十分集まらない等により、目標値を達成することはできなかったが、実施したエンパワーメント講座「女性のための就職応援ワークショップ」と男女共生セミナー「お父さんと一緒に作ろう！簡単☆楽チン☆クッキング」の2講座は実践的な内容であり、中でもエンパワーメント講座では講師との個別相談も行き、再就職を後押しすることができた。										

連番	69	事業名	とよかわオープンカレッジへの支援	担当課	生涯学習課					
事業内容	市民の学習成果を活用し、市民が共に学びあう市民参画型生涯学習システム「とよかわオープンカレッジ」は平成21年度より開設している。一般社団法人とよかわオープンカレッジへの補助、会場として生涯学習センターなどを使用する場合の優先予約、使用料金の減免措置などの支援を行う。								R4 事業費	
									1,000千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
講座数(講座/年度)		目標値	350	350	350	350	350	350	○	
		実績値	339	138	291	315				
自己評価の理由										
新型コロナウイルス感染症の影響で受講希望者が十分集まらず中止となった講座もあり、講座数の目標値は達成できなかったが、持ち直してきている。市民が主体となる学びの場を継続して提供できるよう、令和5年度からの受講料改定や講師料変更を決定して参加者の募集を行うなど、次年度の運営体制を見直すことができた。										

連番	70	事業名	重層的支援体制整備事業	担当課	地域福祉課					
事業内容	地域住民の属性を問わない、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備する重層的支援体制整備事業の実施に向け、令和3年度より、市内10か所の高齢者相談センターおよび出張所に配置されたコミュニティソーシャルワーカーが、福祉に関する様々な相談の窓口となり、各支援機関と連携して包括的な支援を実施する。								R4 事業費	
									31,582千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
重層的支援会議実施回数(回/年度)		目標値	—	—	5	5	5	5	○	
		実績値	—	—	2	5				
自己評価の理由										
重層的支援会議を計画通り実施し、複雑で複合的な課題を抱える相談者の支援プランの作成、プランの適切性の検討を支援関係機関の連携により対応することで、令和5年度からの本格実施に備えることができた。										

基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

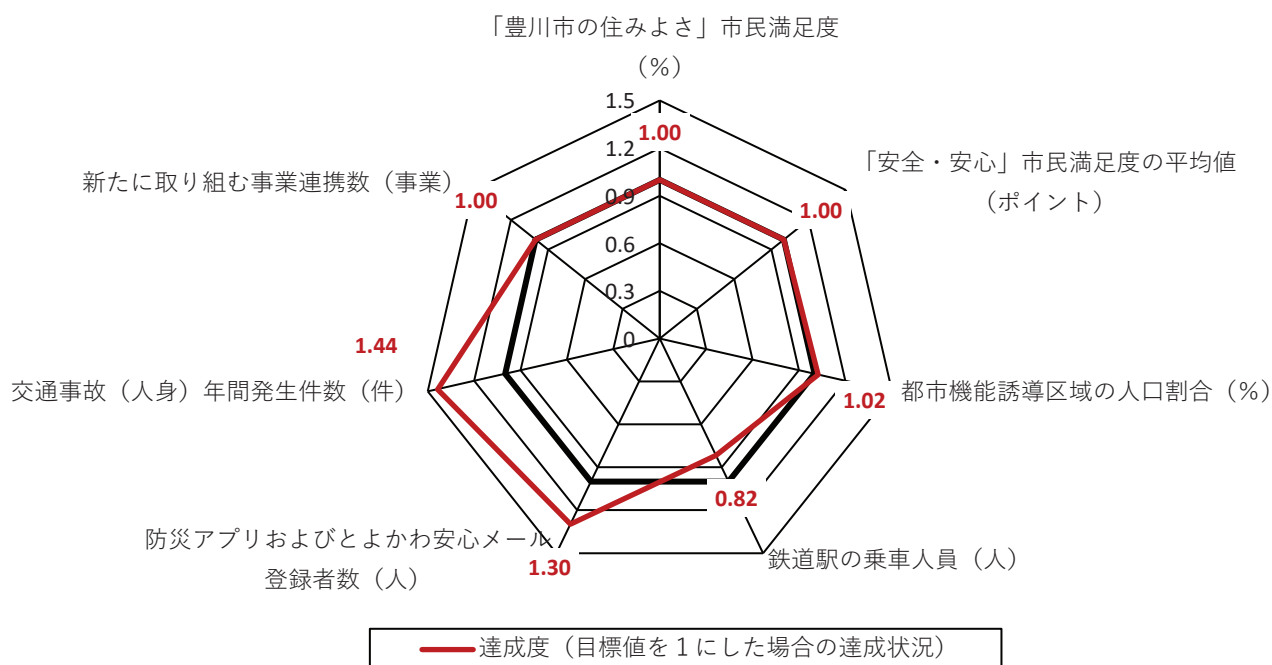
【基本的方向】

高齢化に伴う人口減少社会を迎える中、誰もが安心して健やかに暮らし続けることができる、安全で快適に暮らせる「まち」をつくります。

基本目標④ 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「豊川市の住みよさ」市民満足度(%)	(上段:数値)	89.4	—	—	90.0	—		90.0
	(下段:達成度)	—	—	—	A	—		

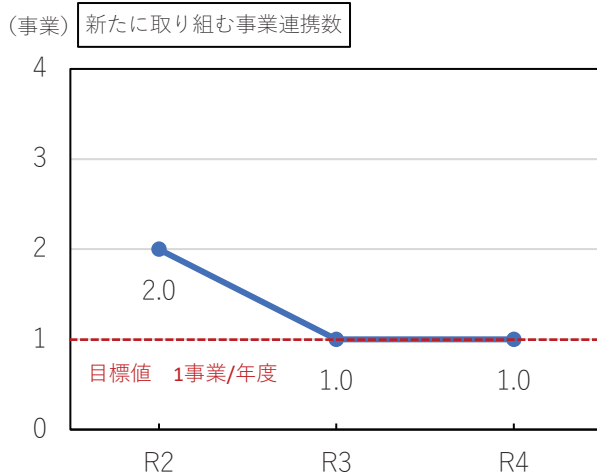
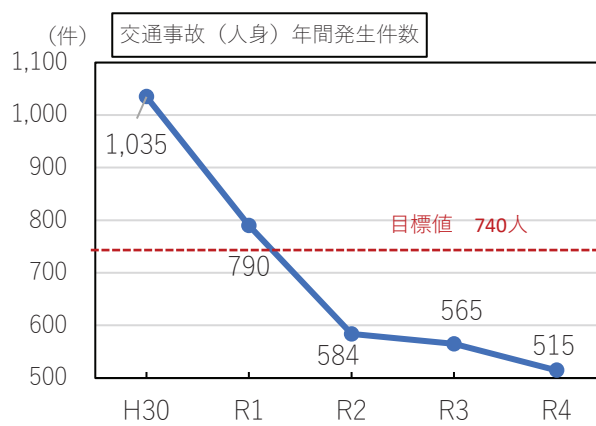
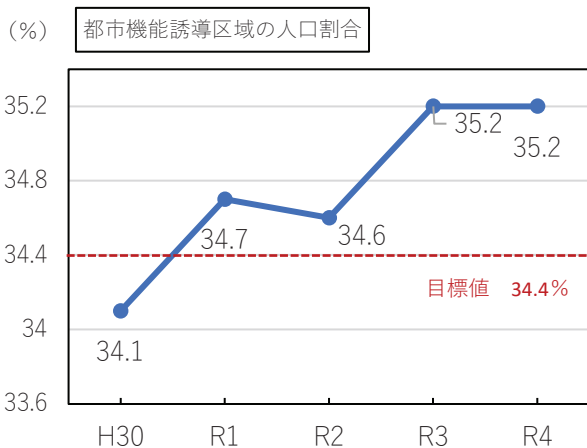
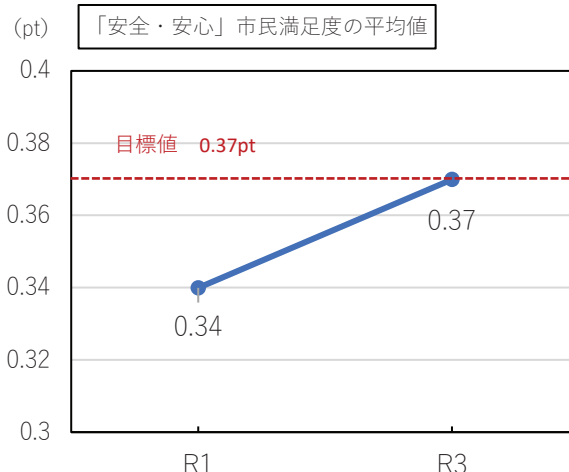
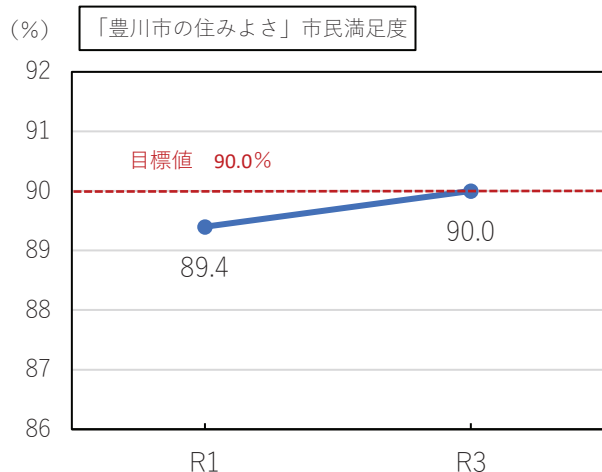
1. 達成状況レーダーチャート



2. 評価

内部評価分析(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIのうち6項目が目標値を超え、目標値達成率は、86%(7項目中6項目)となった。 ・令和4年度の実績値が確認できるKPIのうち、「鉄道駅の乗車人員」や「防災アプリおよびとよかわ安心メール登録者数」、「交通事故(人身)年間発生件数」が改善しており、安全で快適に暮らせるまちづくりの施策が効果を発揮できていると評価する。
外部評価検証(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊川市の住みよさ」市民満足度は災害があれば下がり、平穏な日常が続けば上がると思うが、非常時を考えていかなければ、いざという時に行政としての役割は果たせないと思う。 ・大型商業施設のオープンや新たな道路の開通など、今後、車の流れや交通量が大きく変化することが見込まれるため、交通事故の年間発生件数などを捉え、安全なまちづくりに向けて今一度、対策強化に努められたい。

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策(1) 拠点間の連携・拠点周辺への都市機能集約と居住の促進

- コンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地や主要駅周辺の地域拠点などに医療・福祉施設、商業施設などの都市機能を集約し、市外からの移住による居住促進を図ります。
- 公共交通機関の利便性を向上し、拠点間の連携を図ります。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
都市機能誘導区域の人口割合(%)	実績値	34.1	34.7	34.6	35.2	35.2		34.4
	達成度	—	B	A	A	A		
鉄道駅の乗車人員(人)	実績値	23,205	20,375	17,772	18,944	20,433		25,000
	達成度	—	B	C	C	B		

※ 「都市機能誘導区域の人口割合」は、豊川市立地適正化計画(平成29年3月)に基づく「都市機能誘導区域」内人口と市人口の割合です。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・各事業の成果指標や活動指標について、一部に新型コロナウイルス感染症の影響が見受けられるものの、八幡地区の道路整備の完了をはじめ、おおむね円滑に進捗している。</p> <p>・KPIについて、「都市機能誘導区域の人口割合」は、目標値を上回る割合を維持しており、「鉄道駅の乗車人員」は、目標には達していないものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準まで回復していることから、拠点間の連携・拠点周辺への都市機能集約と居住の促進に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。</p>
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・豊川市は合併を繰り返してできた市であるため、市街地が分散し、都市計画が難しい市ではあるが、まちづくりは比較的円滑に進めてきたと思う。人口減少が避けられない中、都市機能の集約は避けられないが、市民が居住地を移すことは難しいため、公共施設の長寿命化を図るべきではないかと考える。</p> <p>・KPIの都市機能誘導区域の人口割合は目標値を上回っており、拠点周辺への都市機能の集約と居住の促進が推進されているものと評価するが、都市機能誘導区域外の地域への配慮も必要と考える。</p> <p>・地域拠点である名鉄八幡駅周辺地区において、大規模商業施設の開業や住宅地の分譲などによる正負の影響を注視しつつ、事業を継続されたい。</p>

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 地域拠点における人の流れや生活環境の変化を捉えながら、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	71	事業名	愛知御津駅の橋上化および周辺整備					担当課	市街地整備課
事業内容	線路で分断されている市街地の一体形成や踏切、ガード下の歩行者の安全確保を図るため愛知御津駅周辺において橋上化、自由通路および駅前広場等の整備を行う。							R4 事業費	
								14,803千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
工程計画	目標値	駅前広場基本設計	橋上駅自由通路概略設計	都市計画変更・事業認可資料作成	覚書の締結	設計協定の締結	工事協定の締結		○
	実績値	駅前広場基本設計	橋上駅自由通路概略設計	都市計画変更・事業認可資料作成	覚書の締結				
自己評価の理由									
工程計画について、自由通路整備にかかる覚書をJR東海と締結することで事業について合意することができ、計画どおり進めることができた。また、駅前広場整備について、測量や物件調査を行い、用地取得に向けた準備を進めることができた。									

連番	72	事業名	拠点地区定住促進事業					担当課	都市計画課
事業内容	豊川市立地適正化計画で定める都市機能誘導区域において、市外からの転入者(他条件有)に対し固定資産税相当額を助成する施策を実施することで、定住促進を図る。また、補助対象者が中学生以下の子を持つ世帯の場合には、奨励金を交付する。							R4 事業費	
								28,022千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
補助金交付件数(件/年度)	目標値	72	120	142	187	183	160	◎	
	実績値	78	158	180	192				
自己評価の理由									
補助金交付件数は、継続的に市内外に対し本制度をPRしたことで目標値を上回り、都市機能誘導区域の人口割合の維持を支えることができた。									

連番	73	事業名	拠点地区への都市機能立地の促進					担当課	都市計画課
事業内容	豊川市立地適正化計画で定める都市機能誘導区域において、同計画で設定した都市機能施設を新設して運営する事業者(他条件有)に対し固定資産税相当額などを助成する施策を実施することで、都市機能を集約し、利便性の向上を図る。							R4 事業費	
								28,022千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
補助金交付件数(件/年度)	目標値	10	10	16	15	13	15	△	
	実績値	6	10	13	9				
自己評価の理由									
近年、補助対象となる新規事業者が減少傾向にあることから、補助金交付件数は目標値を達成できなかったが、宅建協会主催の懇談会への出席や医師会、歯科医師会、社会福祉協議会などの関係団体による協力により、事業者への周知を円滑に行うことができた。									

連番	74	事業名	八幡地区の都市機能集積と拠点間連携の推進					担当課	市街地整備課
事業内容	八幡駅周辺地区について、都市機能を向上させるため、大規模工場跡地の土地利用の転換を図り、市民病院、駅という立地条件を活かし、公共施設、商業、福祉、住宅など多様な機能を集積した地域拠点を形成する。また、地域拠点の形成にあたり、渋滞緩和、交通安全、土地利用の促進および緊急車両の対応のため、道路拡幅改良工事等を実施する。							R4 事業費	
								752,405千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
工程計画	目標値	-	詳細設計・関係機関協議	道路改良工事	道路改良工事	-	-	○	
	実績値	-	詳細設計・関係機関協議	道路改良工事	道路改良工事				
自己評価の理由									
全ての整備予定路線について、工程計画通り道路拡幅改良工事等を完了し、令和5年3月の大規模商業施設の開業に伴う交通量増加による混雑を緩和することができた。また、日立跡地における整備予定路線も工程計画通り整備を完了し、同地区内での宅地分譲が進み、居住機能を向上することができた。									

連番	75	事業名	土地利用規制の緩和					担当課	都市計画課
事業内容	地域拠点周辺の7地区において、都市基盤施設整備を実施するとともに、建ぺい率、容積率を緩和し、土地利用促進を図る。							R4 事業費	
								41,488千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
建築規制緩和地区数(地区/年度)	目標値	-	-	1	-	2	-	○	
	実績値	-	-	1	-				
自己評価の理由									
令和4年度は建築規制の緩和は実施していないが、令和5年度に実施を予定する2地区について、国府高畑地区は地区計画の素案作成を、八幡地区は課題整理を実施し、建築規制緩和実施に向けた準備を整えることができた。									

連番	76	事業名	空き家等対策の推進					担当課	建築課
事業内容	相談窓口を建築課に一本化するとともに、庁内連絡会議を設置し情報共有を図る。また、空家等対策協議会を開催し、空家等実態調査の結果などを基に空家等対策計画を策定し、地域住民の生活環境の保全を図るため、具体的施策を総合的かつ計画的に実施していく。							R4 事業費	
								10,853千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
老朽空家等解体費補助金交付件数(件/年度)	目標値	20	60	58	57	57	56	○	
	実績値	69	47	64	46				
自己評価の理由									
所有者による交付申請の先送り等により、老朽空家等解体費補助金交付件数は目標値を達成できなかったが、個別相談会や補助制度チラシの固定資産税納税通知書への同封などを行い、対策の必要性を広く周知することができた。									

基本目標④—施策(1) 拠点間の連携・拠点周辺への都市機能集約と居住の促進

連番	77	事業名	公共交通機関等利用促進事業					担当課	市街地整備課
事業内容	豊川市地域公共交通計画に基づき、将来にわたって持続可能な公共交通網の実現を目指すため、地域や生活の足として、コミュニティバスを運行する。現在は基幹路線6路線、地区地域路線4路線の10路線により運行。								
	R4 事業費 124,877千円								
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
コミュニティバス利用者数(人/年度)		目標値	125,000	130,000	87,000	90,000	93,500	96,500	○
		実績値	101,604	71,129	71,529	71,036			
自己評価の理由									
新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティバス利用者数は目標値を達成できなかったが、八幡地区の大型商業施設の開業にあわせて市内バス路線の見直しを実施し、バスの利便性を向上することができた。									

連番	78	事業名	市有地の宅地分譲					担当課	建築課・財産管理課
事業内容	耐久性のない老朽化した市営住宅を順次用途廃止し、その跡地を宅地分譲するとともに、未活用地となった市有地を売却し、歳入確保および人口増に向けた取組を実施する。								
	R4 事業費 26,593千円								
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
市営住宅入居者移転戸数(戸/年度)		目標値	7	7	8	4	4	1	○
		実績値	7	7	8	3			
自己評価の理由									
可能な限り住み慣れた場所で暮らしたいという対象者の希望等により、市営住宅入居者移転戸数は目標値を達成できなかったが、対象者が希望する条件に合致した移転先を紹介するなどの支援を行ったことで、着実に事業を推進することができた。									

基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策(2) 地域の安全・安心・高付加価値化の推進

- 居住しやすい環境づくりに向け、消防・防災対策、防犯対策を強化し、地域の安全性の向上を図ります。
- 交通事故から命を守るため、通学路の安全対策や高齢者の安全運転への支援などの交通安全対策を推進します。
- 空き店舗などのリノベーションや再生可能エネルギーの活用促進を支援し、地域の高付加価値化を図ります。
- 感染症が拡大しない地域づくりを推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「安全・安心」市民満足度の平均値(ポイント)	実績値	—	0.34	—	0.37	—		0.37
	達成度	—	B	—	A	—		
防災アプリおよびとよかわ安心メール登録者数(人)	実績値	29,000	31,735	34,319	48,659	51,842		40,000
	達成度	—	C	B	A	A		
交通事故(人身)年間発生件数(件)	実績値	1035	790	584	565	515		740
	達成度	—	B	A	A	A		

※1 「安全・安心」市民満足度の平均値は、市民意識調査「安全・安心」の11項目における評価点の平均値で、「満足」を+2点、「まあ満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点としています。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・消防・防災対策や防犯・交通安全対策をはじめ地域の安全に関する各事業が、全般的に円滑に進捗している。 ・KPIについて、「防災アプリおよびとよかわ安心メール登録者数」と「交通事故(人身)年間発生件数」は、前年度に引き続き、目標を達成する数で推移していることから、地域の安全・安心・高付加価値化の推進に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・生活する上での安心・安全は基本であり、この評価が低いようでは行政としての仕事に疑問が残る。 ・令和5年6月の豪雨災害時の情報伝達などの課題は、今後の災害対応に不安を残した。 ・近年頻発する自然災害への対応では、デジタル・アナログ両面での情報発信の強化と、事前の備えの周知を、より強化されたい。

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 自然災害をはじめ危機管理における情報発信の多角化など、安全・安心の確保に資する取組を強化しながら、当施策を推進する。		

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	79	事業名	消防署本署の建替					担当課	消防本部総務課	
事業内容	市民の安全・安心を守るために、耐震性・耐久性および安全性が確保され、災害時の活動拠点施設としての機能を有した消防庁舎を建設する。								R4 事業費 68,403千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
工程計画	目標値	調査・研究	基本構想策定	基本計画策定	基本設計	実施設計	建設工事		○	
	実績値	調査・研究	基本構想策定	基本計画策定	基本設計					
自己評価の理由										
工程計画はスケジュールどおりに進捗させ、令和4年度に「消防署本署庁舎整備基本設計」を策定し、基本計画で定めたコンセプトを設計方針として設計内容を具体化させたことで、消防署本署新庁舎の機能や施設について精査ができ、建設工事の見通しを立てることができた。										

連番	80	事業名	防災情報の伝達手段の整備					担当課	危機管理課	
事業内容	発災時に迅速かつ効果的な初動対応を図るため、ドローンなどの先進技術を活用した「豊川市ドローン災害対応システム」を構築し実装する。								R4 事業費 26,708千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
災害対応システム構築	目標値	—	体制の検討・検証	実証実験・システム設計	実証実験・システム設計	システム構築	システム運用	システム運用	○	
	実績値	—	体制の検討・検証	実証実験・システム設計	システム構築					
自己評価の理由										
東三河ドローン・リバー構想推進協議会における災害対応研究会において、ドローンおよび参加団体が持つ先進技術を活用した「ドローン災害対応システム」を構築し、実装することで、円滑な災害情報収集体制を確立するとともに、それを活用した訓練を実施することができた。										

連番	81	事業名	防災教育の推進					担当課	危機管理課	
事業内容	市民の防災意識の向上のため、令和2年4月に供用開始した豊川市防災センターを拠点として、展示スペースの一般見学、団体見学を行うほか、とよかわ防災リーダー養成講座、とよかわ女性防災リーダー養成講座等の講座、ファミリー防災講座等の啓発イベント等、さまざまな年齢層、対象者に対し、防災教育事業を実施する。								R4 事業費 2,269千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
とよかわ女性防災リーダー養成者数(人/年度)	目標値	40	40	40	40	40	20	20	△	
	実績値	25	29	23	18					
自己評価の理由										
とよかわ女性防災リーダーの養成は平成29年度から実施している取組であり、各自主防災会において受講済者が増加しているため新規受講者の推薦が伸び悩んでおり、目標値を達成することはできなかったが、その他の防災関連講座等の開催や防災センターの展示スペースの見学などにより、防災教育を推進することができた。										

連番	82	事業名	密集市街地整備事業					担当課	都市計画課	
事業内容	市内で密集市街地となっている地区について、防災まちづくりの観点から、防災まちづくり計画の策定や道路の拡幅等を計画し、安心・安全なまちが形成されることを目的とする。								R4 事業費 140千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
密集市街地の都市基盤整備取組地区数(地区/年度)	目標値	1	1	1	1	1	1	1	○	
	実績値	1	1	1	1					
自己評価の理由										
密集市街地の都市基盤整備は牛久保地区にて取り組んでおり、牛久保安心・安全なまちづくり協議会からブロック塀補助制度延長の要望を受け、令和5年度から3年間の延長を決定するなど、防災の観点から安心・安全なまちづくりに資する取組を進めることができた。										

連番	83	事業名	無電柱化推進事業					担当課	市街地整備課	
事業内容	道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から無電柱化を推進する。								R4 事業費 4,611千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
無電柱化推進計画の策定	目標値	—	調査検討	調査検討	計画策定	予備設計	詳細設計		○	
	実績値	—	調査検討	調査検討	計画策定					
自己評価の理由										
無電柱化推進計画の策定を行い、無電柱化整備路線の決定や計画の目標を設定するなど、無電柱化を推進するための体制を整えることができた。										

連番	84	事業名	防犯カメラ設置事業					担当課	人権生活安全課	
事業内容	犯罪抑止および地域の防犯の向上を図るため、町内会による防犯カメラ設置事業費に補助をする。また、市内全域において主要な幹線道路や交差点等に防犯カメラを設置する。								R4 事業費 3,622千円	
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
防犯カメラ設置費補助事業率(%)	目標値	80	80	90	90	90	80		◎	
	実績値	80	80	90	90					
自己評価の理由										
防犯カメラ設置費補助事業について補助率を予定どおり90%として実施し、設置団体数については、4団体の計画に対して6団体の実績があったことから、地域防犯の向上を図る取組を支えることができた。										

基本目標④ー施策(2) 地域の安全・安心・高付加価値化の推進

連番	85	事業名	通学路の一斉点検と安全対策事業					担当課	道路河川管理課・人権生活安全課	
事業内容	継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握を行い、対策の改善・充実を行う。これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図る。また、自転車乗車用ヘルメットの着用を推進し、自転車乗車中の交通事故による被害の軽減を図る。								R4 事業費	95,291千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
豊川市通学路安全推進会議の実施回数(回/年度)		目標値	3	3	3	3	3	3	○	
		実績値	3	3	3	3				
自己評価の理由										
豊川市通学路安全推進会議の実施回数については、計画通り実施し、対策・効果把握・改善といったPDCAサイクルによる通学路の安全性向上を図るとともに、自転車乗車用ヘルメットの着用を推進し、交通安全対策を進めることができた。										

連番	86	事業名	高齢者の安全運転への支援					担当課	人権生活安全課	
事業内容	高齢運転者の踏み間違いによる交通事故を防止するため、車の後付安全運転支援装置の設置に対し補助を行う。								R4 事業費	761千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
安全運転支援装置補助件数(台/年度)		目標値	—	100	100	100	—	—	△	
		実績値	—	115	51	16				
自己評価の理由										
安全運転支援装置補助件数は、踏み間違い防止装置の標準装備化が進んだことで、目標値を下回る実績となったが、補助制度を継続実施したことで、高齢者の自動車運転による交通事故を防止する交通安全対策を進めることができた。										

連番	87	事業名	パーク・アンド・ライドの推進					担当課	市街地整備課	
事業内容	鉄道利用者の利便性向上、低炭素社会の実現に向けたパークアンドライドの推進を目指し、公共駐車場の拡張整備を行う。								R4 事業費	38,556千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
愛知御津駅前公共駐車場の拡張整備		目標値	用地取得	用地取得	整備工事	—	用地取得	—	○	
		実績値	用地取得	用地取得	整備工事	—				
自己評価の理由										
愛知御津駅前公共駐車場の拡張整備は、令和3年度までに用地取得を行い暫定での整備工事を実施しており、令和4年度は公共駐車場交通系ICカード等対応の検討調査を実施し、パークアンドライドの推進に資する取組を進めることができた。										

連番	88	事業名	再生可能エネルギーの活用促進への支援					担当課	環境課	
事業内容	温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止に寄与することを目的として、住宅用地球温暖化対策設備(太陽光発電および蓄電池システム等)を設置する市民に対し、その設置費用の一部を補助し、導入の促進を図る。								R4 事業費	18,329千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
住宅用地球温暖化対策設備補助件数(件/年度)		目標値	215	170	180	195	290	465	◎	
		実績値	215	167	168	196				
自己評価の理由										
住宅用地球温暖化対策設備補助件数は、補助メニューによっては受付開始早々に受付可能件数に達するなど市民のニーズが高く、温室効果ガスの排出抑制や地球温暖化防止に資する市民による取組を支えることができた。										

連番	89	事業名	子どもの予防接種費用助成事業					担当課	保健センター	
事業内容	現在、任意接種により行われている「おたふくかぜ」の予防接種に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。また、骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと主治医に判断された20歳未満の方が、任意で予防接種を再接種するための費用を補助する。								R4 事業費	2,462千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
おたふくかぜワクチン接種率(%/年)		目標値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	◎	
		実績値	87.4%	86.9%	67.5%	90.2%				
自己評価の理由										
おたふくかぜワクチン接種率は目標値を上回り、ほけん特集号やホームページなどによる周知を通じて、自己負担が生じるにも関わらず、自己負担を要しない他の定期接種のワクチンと同水準の接種率とすることができた。										

連番	90	事業名	市民病院における感染症対応の強化					担当課	市民病院経営企画室	
事業内容	感染症が発生した場合においても、安定した医療提供体制を確保するため、感染症対策に必要な診療材料を継続的に備蓄する。また、感染症に対する意識向上を目的とした職員向けセミナーを開催する。								R4 事業費	20,709千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
感染症対策に係る資材の備蓄(か月分)		目標値	3	3	3	3	3	3	○	
		実績値	3	3	3	3				
自己評価の理由										
感染症対応に必要なマスクなどを着実に備蓄し、不足が生じないように診療体制を確保し、感染症対策と安定した医療提供体制を持続させることができた。										

基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策(3) 地域マネジメントと民間活力の導入

- 民間が持つ技術やノウハウを積極的に活用し、公共サービスの維持、向上を図ります。
- 地域の自助、共助による自治力を強化し、地域で課題を解決できる推進体制を支援します。
- 地域や行政サービスにおけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)を支援・推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が A:1以上 B:0.8以上1未満 C:0.5以上0.8未満 D:0.5未満							
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「豊川市の住みよさ」市民満足度(%)	実績値	—	89.4	—	90	—		90
	達成度	—	B	—	A	—		
新たに取り組む事業連携数(事業)	実績値	—	—	2	1	1		6(累積)
	達成度	—	—	A	A	A		

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない		
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・各事業について、「公募設置管理制度などによる民間活力を導入した公園の新たな利活用」をはじめ、各事業を概ね計画通り実施することができた。 ・KPIについて、「新たに取り組む事業連携数」は、地域猫活動推進に関するクラウドファンディングを実施し、民間資金の活用による地域猫活動の支援を継続することができたことから、地域マネジメントと民間活力の導入を図る施策が円滑に進捗していると評価する。
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・ボランティア・NPOマンパワーの養成による地域力向上について、受講された方がどのような行動をとっているのか事後経過が分かれば、さらに次のステップにつないでいけると考える。 ・民間との事業連携については、具体的にどのような内容の取組がされているかなど、内容の精査を行う段階に入っていると考える。

3. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 市民協働や民間との連携について、得られた成果や効果的であった取組内容を精査し、さらなる改善を図りながら、当施策を推進する。

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

4. 主な事業

連番	91	事業名	公募設置管理制度などによる民間活力を導入した公園の新たな利活用					担当課	公園緑地課
事業内容	赤塚山公園において、公募設置管理制度(Park-PFI 制度)を活用した民設民営の飲食等の便益施設を設置するとともに、その施設付近において休養施設(特定公園施設)の整備を行い、民間事業者の創意工夫も取り入れた整備、管理により公園利用者に向けたサービスの強化を図る。							R4 事業費	17,424千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ぎょうぎランド来園者数(万人/年度)		目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	43.0	43.0	◎
		実績値	37.0	25.8	39.5	46.0			
自己評価の理由									
ぎょうぎランド来園者数は目標値を上回り、令和5年度のリニューアルオープンに合わせ計画通り整備が進捗し、官民連携型のサービスの提供が可能となったことで、利便性を向上することができた。									

連番	92	事業名	クラウドファンディングなどを活用した官民連携の促進					担当課	元気なとよかわ発信課
事業内容	特定の事業について、インターネット等を通じて広く支援者、支援企業を募り、事業に必要な資金を集める。取組にあたっては、ふるさと納税制度等を活用し、多くの資金を集め事業を円滑に実施することを目指す。							R4 事業費	-
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
クラウドファンディングによる連携事業件数(件/年度)		目標値	1	1	1	1	1	1	◎
		実績値	2	1	0	1			
自己評価の理由									
クラウドファンディングによる連携事業として、令和4年度は地域猫活動推進に関する第2回クラウドファンディングを実施し、目標金額200万円を上回る2,576,000円の寄附による支援を得て、官民連携を推進することができた。									

連番	93	事業名	産学官による事業連携の推進					担当課	企画政策課
事業内容	民間が持つ技術やノウハウを積極的に活用し、公共サービスの維持向上や地域課題の解決のために、官民協議会等による事業連携を推進する。							R4 事業費	0千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地方創生に関する包括連携協定締結団体数(件/累計)		目標値	-	-	9	18	19	21	○
		実績値	5	8	16	17			
自己評価の理由									
地方創生に関する包括連携協定締結団体数について目標値には達しなかったものの、新たに株式会社スカイビークと協定を締結し、ドローンを活用した地域産業の活性化に関する事業等について、官民連携で取り組むことができた。									

連番	94	事業名	行政デジタル化の推進					担当課	情報政策課
事業内容	単純かつ大量の入力や繰り返し処理等の作業について、RPA およびAI-OCR等のAI情報技術を活用して事務作業時間の削減を図るとともに、全庁的に行政手続のオンライン化を推進し、市民サービスの向上を図る。あわせて、感染症対策の3密防止や対面接触低減、業務効率化や働き方改革の推進のため、無線LANを利用したWeb会議や庁内システムへのリモート接続環境の整備充実を図る。							R4 事業費	3,887千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
AI等情報技術定義設定登録数(件/年度)		目標値	-	10	20	60	95	105	◎
		実績値	-	14	45	79			
自己評価の理由									
AI等情報技術を利用する事務作業数の指標となるAI等情報技術定義設定登録件数は、各課に対し庁内のRPAおよびAI-OCRの活用事例を紹介するとともに、RPAに関する基本的な知識や技術を学べる機会を提供し利用促進を図ることで、目標値を達成することができ、AI情報技術を活用した事務作業の効率化を図ることができた。									

連番	95	事業名	公共施設におけるファシリティマネジメントの推進					担当課	財産管理課
事業内容	一宮地区の公共施設再編に向けた課題などを整理し、地元との合意形成を図りながら公共施設の適正配置の推進を図る。							R4 事業費	9,310千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
一宮地区公共施設再編整備工程		目標値	-	基本構想検討	基本構想策定	基本計画策定	基本設計	実施設計	○
		実績値	-	基本構想検討	基本構想策定	基本計画策定			
自己評価の理由									
一宮地区公共施設策編整備工程では、令和3年度に策定した基本構想に基づき基本計画を策定したが、策定に向け、住民説明会で取組状況の報告や市ホームページ等での情報発信を行うとともに、住民ワークショップで再編施設の利用イメージ等について地域、地元団体(一宮連区等)と検討を行い、地元との合意形成を踏まえた公共施設の適正配置に向けた取組を進めることができた。									

連番	96	事業名	ボランティア・NPOマンパワーの養成による地域力の向上					担当課	市民協働国際課
事業内容	専門講師による講座を開催し、より専門的な知識や技術を学び、ボランティアや市民活動の取組において活発で効果的な活動を展開する人材の育成を図る。							R4 事業費	100千円
成果指標または活動指標			R1	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
講座の開催数(回/年度)		目標値	-	2	2	2	2	2	◎
		実績値	-	2	2	2			
自己評価の理由									
講座の開催について、「身近な活動にSDGsを取り入れよう」、「プロのアナウンサーが教える 魅力アップ! 伝え方の技術」をテーマとし、2講座とも定員を上回る市民(定員20人に対して各21人参加)が受講し、活動の中で必要とされる題材を取り上げNPOのスキルアップを支えることができた。									